



千葉科学大学

2020年度 出張講義テーマ一覧

薬学部

- 薬学科（6年制）

看護学部

- 看護学科

危機管理学部

- 危機管理学科

総合危機管理コース
ビジネス・経営管理コース
消防官・地域防災コース
警察官・犯罪科学コース
自衛官・安全保障コース

- 保健医療学科

臨床検査学コース・臨床工学コース
臨床検査学コース
臨床工学コース
救急救命学コース

- 航空技術危機管理学科

パイロットコース
航空工学コース
航空マネジメントコース（開設予定）
防災技術コース

- 動物危機管理学科

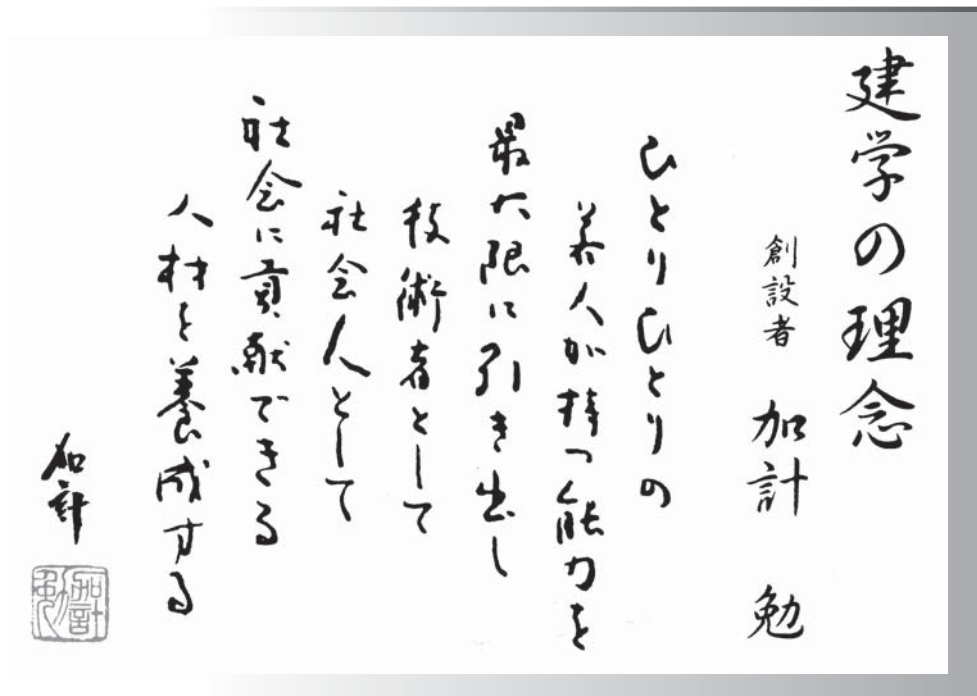
動物生命科学コース
動物看護学コース
野生動物管理学コース
動物資源学コース
畜産学コース
水生動物学コース

はじめに

本学では、大学のことを知っていただくと同時に、社会貢献の一環として、高校生向けの出張講義を行っております。

本学教員による実際の講義を受講していただくことにより、生徒のみなさんに大学での学問の学びや将来のビジョンを描いていただくことにより、将来、自らの進路を選択される上で少しでもお役立ていただけることを願っております。

どうぞ、本冊子の中で聞いてみたい、聞かせてみたいと思われる講義のテーマがございましたら、お気軽にお問い合わせください。



目 次

講義No.	テ ー マ	担当教員	学部	ページ
< 薬学・化学系分野 >				
No. 001	水銀化合物の体内動態と毒性について	足立 達美	薬学	1
No. 002	心電図はベクトルだ！	安東 賢太郎	薬学	1
No. 003	ヒトの心臓、動物の心臓	安東 賢太郎	薬学	1
No. 004	薬学を学んだ先にあるもの	安東 賢太郎	薬学	1
No. 006	薬学における教育と研究	伊藤 正樹	薬学	2
No. 007	遺伝子破壊マウスを用いて体の機能を探る	伊藤 正樹	薬学	2
No. 008	ノーベル化学賞を見る	今井 信行	薬学	2
No. 009	新規化合物？カルボニル核酸	今井 信行	薬学	2
No. 011	千葉科学大学発の体にやさしい水溶性医薬品の開発	今井 信行	薬学	2
No. 012	電子レンジを使用してつくるかぜ薬、変色する水、光る水	今井 信行	薬学	2
No. 013	米国と日本の薬剤師教育・職場の違いについて	岡本 能弘	薬学	2
No. 015	生理活性アミン「ポリアミン」の役割	柏木 敬子	薬学	3
No. 019	脳と機能性食品～健康長寿のために～	佐々木 啓子	薬学	3
No. 020	「体の中のみぎ・ひだり」～薬物のキラリティーについて～	澁川 明正	薬学	4
No. 022	薬学の放射化学	杉本 幹治	薬学	4
No. 026	植物からの贈り物～人間の歴史とともに始まった薬の歴史～	高崎 みどり	薬学	5
No. 028	漢方薬とはどんなもののでしょうか？	高崎 みどり	薬学	5
No. 030	薬物の投与形態（剤形）の種類と特徴	巾 正美	薬学	5
No. 036	薬学への招待	細川 正清	薬学	6
No. 037	くすりの飲み合わせ食べ合わせ	細川 正清	薬学	6
No. 038	薬の効き方の個人差	細川 正清	薬学	6
No. 039	薬はどうして効くの？	細川 正清	薬学	6
No. 040	危ない乱用薬物	細川 正清	薬学	6
No. 042	新型インフルエンザ感染症のリスクマネジメント	増澤 俊幸	薬学	7
No. 044	体の中での薬の動き	桒刈 泰宏	薬学	7
No. 045	くすりのリスク	桒刈 泰宏	薬学	7
No. 049	薬の魔法使い、“薬の錬金術師” になりますか？	森 雅博	薬学	8
No. 051	コレステロールって何故、悪者にされるんでしょう？	森 雅博	薬学	8
No. 053	胃潰瘍にならないためには（夜明けのコーヒーは何故ダメか？）	森 雅博	薬学	8
No. 054	薬剤師資格と薬学部で学ぶこと	大高 泰靖	薬学	8
No. 055	体験実験を伴う「薬物乱用防止教室」の実施	大高 泰靖	薬学	8
No. 056	エイズ感染の現状と新治療薬の創り方	大高 泰靖	薬学	8
No. 057	クエン酸と重曹を利用した実験	大高 泰靖	薬学	8
No. 058	小学生向きサイエンスショー（どれか1つ）	大高 泰靖	薬学	8
No. 060	微生物の利用	小林 照幸	薬学	9
No. 061	薬局・ドラッグストアと薬剤師	仁藤 慎一	薬学	9
No. 062	医薬分業とかかりつけ薬局	仁藤 慎一	薬学	9
No. 063	モノ作りに挑戦 果物の香りを作ろう（講義と実習）	野口 拓也	薬学	9
No. 064	モノ作りに挑戦 合成繊維を作ろう（講義と実習）	野口 拓也	薬学	9
No. 065	立体分子模型を作ろう（講義と実習）	野口 拓也	薬学	9
No. 067	化粧品は何からできている？	山下 裕司	薬学	10
No. 070	薬学紹介	亀甲 龍彦	薬学	10
No. 071	くすりはどのように治療に関わるか？	高橋 真樹	薬学	11

目 次

講義No.	テ ー マ	担当教員	学部	ページ
-------	-------	------	----	-----

< 薬 学 ・ 化 学 系 分 野 >

No. 076	理系学部学科の違いとは？～薬学部ではどんな研究が行われているか？～	三森 盛亮	薬学	11
No. 077	薬に関する身近な食品	柳澤 泰任	薬学	12
No. 078	光る水でつくる喜びを体験	川島 裕也	薬学	12
No. 079	今後どうなる薬剤師？	川島 裕也	薬学	12
No. 080	電子レンジで光る水をクッキング～ルミノールの合成～	川島 裕也	薬学	12
No. 081	電子レンジで色が変わる水をクッキング～フェノールフタレインの合成～	川島 裕也	薬学	12
No. 082	電子レンジで解熱鎮痛薬をクッキング～アセトアミノフェンの合成～	川島 裕也	薬学	12
No. 083	薬剤師って、なに？	北島 直希	薬学	12
No. 085	ポリアミンから産生されるアクロレインの解毒機構と医療への応用	坂本 明彦	薬学	13
No. 086	薬学への招待	高橋 正人	薬学	13
No. 087	天然から発見された医薬品の造り方	高橋 正人	薬学	13
No. 088	危険ドラッグについての話	高橋 正人	薬学	13

< 危 機 ・ 環 境 系 分 野 >

No. 021	放射能と放射線	杉本 幹治	薬学	4
No. 040	危ない乱用薬物	細川 正清	薬学	6
No. 055	体験実験を伴う「薬物乱用防止教室」の実施	大高 泰靖	薬学	8
No. 088	危険ドラッグについての話	高橋 正人	薬学	13
No. 089	今、私達はどのような社会に住んでいるのか	東 祥三	危機	14
No. 091	危機管理の素養について	東 祥三	危機	14
No. 093	日本の外交・安全保障政策について	東 祥三	危機	14
No. 094	日本が直面する最大の課題について	東 祥三	危機	14
No. 095	難民・移民問題における日本の問題について	東 祥三	危機	14
No. 098	リスク認識の心理学、内部告発の心理学	王 晋民	危機	14
No. 104	ペットの災害に対する備えとは	小沼 守	危機	15
No. 106	組織の危機管理・リスクマネジメント	木村 栄宏	危機	16
No. 107	身近なリスクマネジメントを学ぶ	木村 栄宏	危機	16
No. 109	健康と医療に対する危機管理	黒木 尚長	危機	16
No. 110	学校でみられる身近な危険と危機管理	黒木 尚長	危機	16
No. 111	熱中症の科学と危機管理	黒木 尚長	危機	16
No. 113	身近な火災危険とその予防	高 黎静	危機	16
No. 116	航空機乗務員の危機管理	小橋 行雄	危機	17
No. 117	ECO フライト、航空機運航時中の CO2 削減	小橋 行雄	危機	17
No. 120	シートベルトは締めないといけないのですか	嶋村 宗正	危機	17
No. 121	自転車を運転していますか	嶋村 宗正	危機	17
No. 122	交通事故はどうして起こるのでしょうか	嶋村 宗正	危機	17
No. 126	流れの数値シミュレーション	戸田 和之	危機	18
No. 129	放射性物質の存在状態と未来への対策	八田 珠郎	危機	19
No. 138	将来の自然災害を乗り切るには？	藤本 一雄	危機	20
No. 139	地理情報システム（GIS）を体験してみよう！	藤本 一雄	危機	20
No. 146	航空機事故はどうしておきるのか	山田 光男	危機	21
No. 149	ヒューマンエラーの科学	粕川 正光	危機	21
No. 150	災害の心理学	粕川 正光	危機	21

目 次

講義No.	テ ー マ	担当教員	学部	ページ
-------	-------	------	----	-----

< 危機・環境系分野 >

No. 151	知っておきたい身近な情報セキュリティ	粕川 正光	危機	21
No. 154	利根川の生き物と歴史の話	小濱 剛	危機	22
No. 155	救急救命士の役割と責任	櫻井 嘉信	危機	22
No. 156	水資源の話	手束 聡子	危機	22
No. 163	環境問題とどう向き合っていくか？	五十嵐 信彦	危機	23
No. 168	救急救命士の仕事	日下部 雅之	危機	25
No. 173	母なる海の話	小濱 剛	危機	22
No. 178	災害と看護	梅田 君枝	看護	27
No. 185	看護師も実践！ KYT	富樫 千秋	看護	28
No. 194	大地のなりたちをさぐる	植木 岳雪	教職	31
No. 195	地質災害と防災・減災：地震、活断層、地すべり	植木 岳雪	教職	31

< 医療・健康系分野 >

No. 002	心電図はベクトルだ！	安東 賢太郎	薬学	1
No. 015	生理活性アミン「ポリアミン」の役割	柏木 敬子	薬学	3
No. 023	なぜ、ケガをするのだろうか？	田井中 幸司	薬学	4
No. 024	ダイエットするの？	田井中 幸司	薬学	4
No. 025	介護予防トレーニング	田井中 幸司	薬学	4
No. 026	植物からの贈り物～人間の歴史とともに始まった薬の歴史～	高崎 みどり	薬学	5
No. 029	微生物のポリアミン	照井 祐介	薬学	5
No. 031	スポーツファーマシストとドーピングの話	生城山 勝巳	薬学	6
No. 037	くすりの飲み合わせ食べ合わせ	細川 正清	薬学	6
No. 038	薬の効き方の個人差	細川 正清	薬学	6
No. 039	薬はどうして効くの？	細川 正清	薬学	6
No. 042	新型インフルエンザ感染症のリスクマネジメント	増澤 俊幸	薬学	7
No. 044	体の中での薬の動き	榊淵 泰宏	薬学	7
No. 045	くすりのリスク	榊淵 泰宏	薬学	7
No. 046	加齢と老化～年はとりたくないけれど～	松岡 耕二	薬学	7
No. 050	好きなものを食べても太らない、魔法の食事法	森 雅博	薬学	8
No. 051	コレステロールって何故、悪者にされるんでしょう？	森 雅博	薬学	8
No. 053	胃潰瘍にならないためには（夜明けのコーヒーは何故ダメか？）	森 雅博	薬学	8
No. 062	医薬分業とかかりつけ薬局	仁藤 慎一	薬学	9
No. 066	細菌と食中毒	福井 貴史	薬学	10
No. 077	薬に関する身近な食品	柳澤 泰任	薬学	12
No. 084	糖尿病、その先には	北島 直希	薬学	12
No. 101	臨床検査技師の仕事と感染対策	大島 利夫	危機	15
No. 102	身近な感染症のうつるしくみと予防	大島 利夫	危機	15
No. 109	健康と医療に対する危機管理	黒木 尚長	危機	16
No. 110	学校でみられる身近な危険と危機管理	黒木 尚長	危機	16
No. 111	熱中症の科学と危機管理	黒木 尚長	危機	16
No. 123	臨床工学技士のお仕事	田中 良	危機	18
No. 124	心臓動脈硬化の早期発見のしかた	田中 良	危機	18

目 次

講義No.	テ ー マ	担当教員	学部	ページ
-------	-------	------	----	-----

< 医 療 ・ 健 康 系 分 野 >

No. 125	心臓核医学検査	田中 良	危機	18
No. 133	細胞検査士という仕事をご存知ですか？	福留 伸幸	危機	19
No. 134	細胞検査士の資格を取得すると、どんないいことがあるか？	福留 伸幸	危機	19
No. 135	がん細胞の話	福留 伸幸	危機	19
No. 136	臨床検査技師資格の話について	福留 伸幸	危機	19
No. 141	食のリスク～氾濫する「安全・安心」について考える～	堀本 政夫	危機	20
No. 142	健康に生きる	三村 邦裕	危機	20
No. 143	血液の話	三村 邦裕	危機	20
No. 144	体をはかる（臨床検査とは）	三村 邦裕	危機	20
No. 145	医療従事者とは	三村 邦裕	危機	20
No. 148	臨床検査よもやま話	植田 成	危機	21
No. 155	救急救命士の役割と責任	櫻井 嘉信	危機	22
No. 164	臨床工学技士について	海老根 雅人	危機	24
No. 166	電気メスの仕組み～電気の力でヒトを切る？血を止める！？～	岡林 徹	危機	24
No. 167	心機能と心電図の関係	木内 幸子	危機	24
No. 172	心肺蘇生法（Basic Life Support）について	飯田 涼太	危機	26
No. 181	キズのなおり方となおし方	梶原 睦子	看護	28

< 生 命 ・ 動 物 系 分 野 >

No. 003	ヒトの心臓、動物の心臓	安東 賢太郎	薬学	1
No. 005	ボルボックス藻類の進化	飯田 仁	薬学	1
No. 007	遺伝子破壊マウスを用いて体の機能を探る	伊藤 正樹	薬学	2
No. 014	免疫についての話	岡本 能弘	薬学	2
No. 016	臨床検査におけるポリアミン	柏木 敬子	薬学	3
No. 018	食物からエネルギーを得るしくみ	佐々木 啓子	薬学	3
No. 027	ユーカリとコアラ（有袋類）の関係	高崎 みどり	薬学	5
No. 041	生物の設計図DNA（講義と実習）	増澤 俊幸	薬学	7
No. 043	ヒトと動物の共通感染症～ペットとのよいおつきあい～	増澤 俊幸	薬学	7
No. 048	記憶のメカニズム（赤の下敷き、緑のペンの記憶法は何故ダメか？）	森 雅博	薬学	8
No. 052	RNA ウイルスは生命の起源（ウイルス疾患の恐ろしさ）	森 雅博	薬学	8
No. 059	脳の成長～増殖と分化～	川田 浩一	薬学	8
No. 097	遺伝子組換えと私たちの生活	石田 信宏	危機	14
No. 103	人の1億倍！？犬の嗅覚のヒミツ	小沼 守	危機	15
No. 104	ペットの災害に対する備えとは	小沼 守	危機	15
No. 105	言葉を話せないペットの病気を早期発見するポイント	小沼 守	危機	15
No. 137	人と動物の体の違い	福永 優子	危機	19
No. 140	実験動物を使ったリスク評価とリスク管理	堀本 政夫	危機	20
No. 147	酵素のお話	植田 成	危機	21
No. 152	淡水魚と海水魚が一緒に泳ぐ魔法の水！「好適環境水」の紹介	小濱 剛	危機	22
No. 153	世界をめぐる海洋生物資源の現状とこれから～SDGsの概念を踏まえ～	小濱 剛	危機	22
No. 159	受精卵が赤ちゃんになるまで：そのときにおきるリスクとは？	坂 芳樹	危機	23
No. 160	動物の眼と眼の病気：眼の病気の原因はなんだろう？	坂 芳樹	危機	23
No. 165	粘菌類の不思議	海老根 雅人	危機	24
No. 169	日本の食を支える畜産業	佐藤 周史	危機	25
No. 170	細胞の内側と外側	松村 聡	危機	25

目 次

講義No.	テ ー マ	担当教員	学部	ページ
-------	-------	------	----	-----

< 看護系分野 >

No. 175	病気を予防し、健康を守る力を育む看護	安藤 智子	看護	27
No. 177	知識と技術を兼ね備えた専門看護師の仕事の魅力	市原 真穂	看護	27
No. 178	災害と看護	梅田 君枝	看護	27
No. 179	途上国の暮らしと看護	梅田 君枝	看護	27
No. 180	ストーマってなあに？	梶原 睦子	看護	28
No. 181	キズのなおり方となおし方	梶原 睦子	看護	28
No. 182	ナイチンゲールの看護理論	高橋 方子	看護	28
No. 183	看護の歴史を覗いてみませんか？	高橋 方子	看護	28
No. 184	看護におけるコミュニケーション	高橋 方子	看護	28
No. 185	看護師も実践！ KYT	富樫 千秋	看護	28
No. 186	食べ物の旅	米倉 摩弥	看護	29
No. 187	寝たきりの人の上着を脱がせたり着せたりしよう	米倉 摩弥	看護	29
No. 188	意外に知らない体温のひみつ	米倉 摩弥	看護	29
No. 189	がんとともに生きる人々を支える看護	青木 君恵	看護	29
No. 190	看護と養護	大塚 朱美	看護	29
No. 191	定時制のための保健室演習	大塚 朱美	看護	29
No. 192	看護師の仕事、男性看護師の役割について	鈴木 康宏	看護	30
No. 193	看護師ってどんな仕事？	澁佐 徳紀	看護	30

< 資格・学科紹介 >

No. 004	薬学を学んだ先にあるもの	安東 賢太郎	薬学	1
No. 006	薬学における教育と研究	伊藤 正樹	薬学	2
No. 013	米国と日本の薬剤師教育・職場の違いについて	岡本 能弘	薬学	2
No. 036	薬学への招待	細川 正清	薬学	6
No. 054	薬剤師資格と薬学部で学ぶこと	大高 泰靖	薬学	8
No. 061	薬局・ドラッグストアと薬剤師	仁藤 慎一	薬学	9
No. 069	大学で学ぶこと	山下 裕司	薬学	10
No. 070	薬学紹介	亀甲 龍彦	薬学	10
No. 076	理系学部学科の違いとは？～薬学部ではどんな研究が行われているか？～	三森 盛亮	薬学	11
No. 079	今後どうなる薬剤師？	川島 裕也	薬学	12
No. 083	薬剤師って、なに？	北島 直希	薬学	12
No. 086	薬学への招待	高橋 正人	薬学	13
No. 096	大学において何を学ぶことができるのか	東 祥三	危機	14
No. 101	臨床検査技師の仕事と感染対策	大島 利夫	危機	15
No. 115	パイロットライセンスの取得	小橋 行雄	危機	17
No. 123	臨床工学技士のお仕事	田中 良	危機	18
No. 128	さまざまな公務員のさまざまな仕事	戸田 博也	危機	18
No. 133	細胞検査士という仕事をご存知ですか？	福留 伸幸	危機	19
No. 134	細胞検査士の資格を取得すると、どんないいことがあるか？	福留 伸幸	危機	19

目 次

講義No.	テ ー マ	担当教員	学部	ページ
-------	-------	------	----	-----

< 資 格 ・ 学 科 紹 介 >

No. 136	臨床検査技師資格の話について	福留 伸幸	危機	19
No. 145	医療従事者とは	三村 邦裕	危機	20
No. 155	救急救命士の役割と責任	櫻井 嘉信	危機	22
No. 164	臨床工学技士について	海老根 雅人	危機	24
No. 168	救急救命士の仕事	日下部 雅之	危機	25
No. 171	動物看護師の仕事	阿部 仁美	危機	26
No. 177	知識と技術を兼ね備えた専門看護師の仕事の魅力	市原 真穂	看護	27
No. 185	看護師も実践！ KYT	富樫 千秋	看護	28
No. 190	看護と養護	大塚 朱美	看護	29
No. 191	定時制のための保健室演習	大塚 朱美	看護	29
No. 192	看護師の仕事、男性看護師の役割について	鈴木 康宏	看護	30

< 一 般 教 養 >

No. 010	I 方式学習塾（I 方式受験対策）	今井 信行	薬学	2
No. 017	日本政治の課題と今後の政局展望	小枝 義人	薬学	3
No. 018	食物からエネルギーを得るしくみ	佐々木 啓子	薬学	4
No. 031	スポーツファーマシストとドーピングの話	生城山 勝巳	薬学	6
No. 032	大聖堂建設の歴史	坊城 俊成	薬学	6
No. 033	シャルトル大聖堂建設の歴史	坊城 俊成	薬学	6
No. 034	ストラスブール大聖堂建設の歴史	坊城 俊成	薬学	6
No. 035	ヴィーン大聖堂建設の歴史	坊城 俊成	薬学	6
No. 040	危ない乱用薬物	細川 正清	薬学	6
No. 047	科学的な考え方・論理的な表現～ほんとかな？～	松岡 耕二	薬学	7
No. 048	記憶のメカニズム（赤の下敷き、緑のペンの記憶法は何故ダメか？）	森 雅博	薬学	8
No. 055	体験実験を伴う「薬物乱用防止教室」の実施	大高 泰靖	薬学	8
No. 057	クエン酸と重曹を利用した実験	大高 泰靖	薬学	8
No. 058	小学生向きサイエンスショー（どれか1つ）	大高 泰靖	薬学	8
No. 063	モノ作りに挑戦 果物の香りを作ろう（講義と実習）	野口 拓也	薬学	9
No. 064	モノ作りに挑戦 合成繊維を作ろう（講義と実習）	野口 拓也	薬学	9
No. 065	立体分子模型を作ろう（講義と実習）	野口 拓也	薬学	9
No. 068	研究者へのいざない	山下 裕司	薬学	10
No. 069	大学で学ぶこと	山下 裕司	薬学	10
No. 072	歴史学	橋爪 烈	薬学	11
No. 073	イスラームの教義	橋爪 烈	薬学	11
No. 074	イスラームとキリスト教	橋爪 烈	薬学	11
No. 075	アラビア科学	橋爪 烈	薬学	11
No. 088	危険ドラッグについての話	高橋 正人	薬学	13
No. 089	今、私達はどのような社会に住んでいるのか	東 祥三	危機	14
No. 090	考えるということについて	東 祥三	危機	14
No. 092	欧米諸国と日本の違いについて	東 祥三	危機	14
No. 093	日本の外交・安全保障政策について	東 祥三	危機	14
No. 094	日本が直面する最大の課題について	東 祥三	危機	14
No. 095	難民・移民問題における日本の問題について	東 祥三	危機	14

目 次

講義No.	テ ー マ	担当教員	学部	ページ
< 一 般 教 養 >				
No. 099	隣国同士が仲良くする方法	大澤 文護	危機	15
No. 100	大衆文化を分析しよう	大澤 文護	危機	15
No. 108	資格試験のための効率的な勉強術	木村 栄宏	危機	16
No. 112	なりたい自分になろう	黒木 尚長	危機	16
No. 114	航空会社のライン運航	小橋 行雄	危機	17
No. 118	さまざまな国際平和協力活動	佐藤 庫八	危機	17
No. 119	我が国の領土問題	佐藤 庫八	危機	17
No. 127	国家同士でも守るべきルールがある！	戸田 博也	危機	18
No. 129	放射性物質の存在状態と未来への対策	八田 珠郎	危機	19
No. 130	澱粉の形態と構造	八田 珠郎	危機	19
No. 131	地球表層環境での物質の変質	八田 珠郎	危機	19
No. 132	アフリカでの研究と開発	八田 珠郎	危機	19
No. 149	ヒューマンエラーの科学	粕川 正光	危機	21
No. 150	災害の心理学	粕川 正光	危機	21
No. 151	知っておきたい身近な情報セキュリティ	粕川 正光	危機	21
No. 157	理系女子の素敵な生き方	手束 聡子	危機	22
No. 158	日本秘湯セレクション	手束 聡子	危機	22
No. 161	人工衛星による地球観測	吉田 重臣	危機	23
No. 162	政治を見る目	五十嵐 信彦	危機	23
No. 176	参加者自身が問題を解決していくグループワークのコツ	安藤 智子	看護	27
No. 179	途上国の暮らしと看護	梅田 君枝	看護	27
No. 182	ナイチンゲールの看護理論	高橋 方子	看護	28
No. 183	看護の歴史を覗いてみませんか？	高橋 方子	看護	28
No. 196	芸術と地学のコラボレーション	植木 岳雪	教職	31
No. 200	「説得」のメカニズム	戸塚 唯氏	教職	31
< 教 職 >				
No. 190	看護と養護	大塚 朱美	看護	29
No. 191	定時制のための保健室演習	大塚 朱美	看護	29
No. 197	大道仮説実験	塚本 浩司	教職	31
No. 198	衝突による力学入門	塚本 浩司	教職	31
No. 199	科学的に考えるとはどういうことか	塚本 浩司	教職	31
No. 200	「説得」のメカニズム	戸塚 唯氏	教職	31
No. 201	学級集団づくりについて	熊谷 圭二郎	教職	32
No. 202	東日本大震災の体験から—災害時における高校生の活動—	熊谷 圭二郎	教職	32
	・ 千葉科学大学出張講義実施要項			33
	・ 千葉科学大学出張講義申込書			34

出張講義テーマおよび概要

No.001 水銀化合物の体内動態と毒性について

水俣病の原因物質であるメチル水銀と体温計などに使われる金属水銀とは体内動態や毒性が大きく異なります。水銀化合物の化学形態に起因する体内動態や毒性の違いやそれらに影響を与える要因などについて解説します。



教授 ^{あだち たつみ}
足立 達美
(博士(薬学))

【略歴】国立水俣病総合研究センター研究員、国立環境研究所主任研究員などを経て現職

【専門分野】衛生薬学、毒性学

【研究概要】化学物質（環境汚染物質など）が神経系細胞に及ぼす影響の解析や食品中の有害化学物質の分析などを行っています。

出張講義テーマおよび概要

No.002 心電図はベクトルだ！

心電図は心臓の活動状態を評価する電気生理検査のひとつです。心臓の電気活動には大きさと方向があるので、これはまさにベクトルの概念に他なりません。時々刻々と変わるベクトルの変化を記録したのが心電図なのです。この講義では心電図を用いて心臓の電気活動と数学の結びつきを説明します。

No.003 ヒトの心臓、動物の心臓

医薬品を開発する過程では薬効や安全性を動物で評価し、ヒトでのそれらを見積もります。医薬品開発に携わる研究者はどのように動物の評価結果からヒトの作用を予測しているのでしょうか。心毒性を例にその考え方を説明します。

No.004 薬学を学んだ先にあるもの

薬学部ほど多彩な分野を学べる学部はありません。将来を迷っている高校生には薬学部に進学することを強くお勧めします。薬学部では何を学べるのか、薬学部卒業後、薬局・病院等の薬剤師以外にどのような就職先があるのか、大学で学んだことがどのように生きるのかを説明します。



教授 ^{あんどう けんたろう}
安東 賢太郎
(博士(医学))

【略歴】千葉大学大学院薬学研究科修了、山梨大学大学院医学工学総合教育部生体制御学専攻修了、三菱化成工業(株)医薬部門(現田辺三菱製薬(株))、東京医科歯科大学特任講師、東京大学大学院農学共同研究員、東邦大学医学部講師等を経て現職

【専門分野】安全性薬理学、比較病態生理学

【研究概要】新規の医薬品を開発する上では動物試験からヒトでの有効性、安全性の橋渡し研究が必須です。こうした必須の非臨床試験のひとつに安全性薬理試験があります。この試験では主に新規医薬品の機能毒性を評価します。私達は安全性薬理試験の実験方法や解析方法の開発だけでなく、実施された安全性薬理試験とヒトの臨床応用で実際に認められた有害作用の相関性を検討しています。

出張講義テーマおよび概要

No.005 ボルボックス藻類の進化

ボルボックス藻類は単細胞生物から多細胞生物への進化の過程を示すモデル生物です。ボルボックス藻類は進化の過程で、どのような形質を獲得し多細胞生物へと進化していったのかをお話いたします。



教授 ^{いida ひとし}
飯田 仁
(博士(理学))

【略歴】筑波大学大学院 博士後期課程 生命環境科学研究科 構造生物科学専攻 修了、茨城県公立高校教諭を経て現職

【専門分野】原生生物学、生物教育学

【研究概要】原生生物の中には、他の生物を細胞内共生させている興味深い種が多く存在します。それらの生物を研究することで、進化のしくみを明らかにしたいと考えています。また、原生生物の教育への応用も研究しています。

出張講義テーマおよび概要

No.006 薬学における教育と研究

薬学部で何が学べ、どのような研究が行われているかを概説します。

No.007 遺伝子破壊マウスを用いて体の機能を探る

約2万個の遺伝子の中から選んだ1つの遺伝子だけが働かないマウス（ノックアウトマウス）が、ES細胞を利用してどのように開発されたのか、その中心となった米国人研究者から数年間指導を受けた経験に基づきお話しします。さらに、それがなぜiPS細胞の開発につながったのか、あまり知られていない研究のつながりを紹介します。



教授 ^{いとう}伊藤 ^{まさき}正樹
(薬学博士)

[略歴] 京都大学大学院薬学研究科博士課程修了、住友化学研究所研究員、静岡県立大学薬学部助教授を経て現職

[専門分野] 分子遺伝学、酵素化学

[研究概要] 遺伝子を人工的に破壊したマウス（ノックアウトマウス）または変換したマウス（ノックインマウス）を用いて高血圧関連遺伝子の機能を調べています。

出張講義テーマおよび概要

No.008 ノーベル化学賞を見る

ハーバード大学での恩師Corey教授のノーベル賞受賞についての体験談です。

No.009 新規化合物？カルボニル核酸

核酸に類似の化合物と考えられるカルボニル核酸が存在すれば、医薬品や農薬などの開発に向けて新たな可能性を見いだすことができます。

No.010 I 方式学習塾（I 方式受験対策）

I 方式学習法（脳が喜ぶ学習法）に基づいた受験対策について解説します。また、勉強してきた成果を、試験本番で最大限に生かす方法があります。脳の飽きっぽい性格を理解して対処すれば、プレッシャーに負けないで受験でき、実力を発揮でき、さらには不眠症対策にも応用できます。

No.011 千葉科学大学発の体にやさしい水溶性医薬品の開発

新しい創薬手法に基づいた胃にやさしい新しいタイプの水溶性医薬品の開発方法について紹介します。

No.012 電子レンジを使用してつくるかぜ薬、変色する水、光る水

電子レンジを使用して、簡便かつ安価に解熱鎮痛薬アセトアミノフェン、指示薬フェノールフタレイン、発光剤ルミノール等をつくる方法を紹介합니다。



教授 ^{いまい}今井 ^{のぶゆき}信行
(薬学博士)

[略歴] ハーバード大学および相模中央化学研究所博士研究員、岡山理科大学助教授を経て現職

[専門分野] 薬品合成化学

[研究概要] 医療費の削減は、日本を含む世界中において重要な課題である。医療費の高騰は、その開発に多額の費用がかかることに起因しているため、これまでの開発方法を見直す必要があると考える。アミノ基を有する医薬品について、 α -アミノ酸およびコハク酸を介してD-グルコサミンを導入することで、安価に付加価値をつけられる非イオン型水溶性医薬品を開発することを目指す。非イオン型水溶性医薬品は、細胞膜を通過することが可能であると予測され、かつ、アミノ基を有する医薬品が微生物または酵素により α -アミノ酸部分で切断できることで活性化できる。

出張講義テーマおよび概要

No.013 米国と日本の薬剤師教育・職場の違いについて

米国の薬剤師教育、薬剤師の活動を紹介しながら日本の薬剤師という仕事の将来の展望について解説します。

No.014 免疫についての話

我々の体に備わっている免疫システムはどのように自己、非自己（病原菌、異物など）を見わけて、非自己の侵入から体を防御しているのかを解説します。



教授 ^{おかもと}岡本 ^{よしひろ}能弘
(博士(薬学))

[略歴] 名城大学講師を経て現職

[専門分野] 免疫微生物学

[研究概要] 病態に伴うサイトカイン（免疫を調節する活性物質）バランスの変動に関する研究を行っています。

出張講義テーマおよび概要

No.015 生理活性アミン「ポリアミン」の役割

生理活性アミンであるポリアミンの機能について、①細胞増殖因子としての役割、および②脳機能調節因子としての役割の面から概説します。

No.016 臨床検査におけるポリアミン

尿中ポリアミン代謝物を癌のマーカーとして、またポリアミンから生じるアクロレインを腎不全や脳梗塞のマーカーとして開発を目指しています。新しい臨床検査項目としてのポリアミンの可能性を概説します。



教授 ^{かしわぎ} 柏木 ^{けいこ} 敬子
(薬学博士)

[略歴] 千葉大学薬学部卒、千葉大学大学院薬学研究科修士課程修了、千葉大学大学院薬学研究科助教授を経て現職

[専門分野] 病態生化学

[研究概要] 細胞増殖必須因子であるポリアミンの生理機能解明と医療への応用。

出張講義テーマおよび概要

No.017 日本政治の課題と今後の政局展望

2014年暮れの総選挙で、自民党安倍政権は再び多数の議席を得て、国民に信任されました。経済、外交を軸に安倍内閣は非常に迅速な対応をしています。2020年の東京オリンピック開催を見据え「21世紀前半の日本の針路（内政・外交）をほぼ決める政治路線が、安倍首相の手で構築されるのではないか」—そんな気配が漂う日本政治の課題と展望について、わかりやすく解説します。



教授 ^{こえだ} 小枝 ^{よしと} 義人
(修士（政治学）)

[略歴] ラジオ関東、栃木新聞社勤務、拓殖大学客員教授などを経て現職
日本政治学会、日本マスコミ学会会員

[専門分野] 現代日本政治

[研究概要] 自社55年体制後の日本政治変遷過程

出張講義テーマおよび概要

No.018 食物からエネルギーを得るしくみ

私たちのからだをつくる器官は、約60兆個の細胞から構成され、細胞が生きていくためのエネルギーを食物から得ています。私たちの器官や細胞は食物を消化して栄養素を吸収するためにどのような役割を果たしているのか、人体のしくみについて解説します。

No.019 脳と機能性食品～健康長寿のために～

認知症をはじめとする脳機能障害は、超高齢化社会における課題の一つです。認知症に有効な治療法が存在しない現在では、「予防する」ことや「進行を遅らせる」ことが重要と考えられます。脳機能に関わる機能性食品の最新動向とその可能性についてお話します。



教授 ^{ささき} 佐々木 ^{けいこ} 啓子
(博士（医学）)

[略歴] 北海道医療大学講師を経て現職

[専門分野] 分子生物学、細胞生物学

[研究概要] 植物成分や植物由来化合物の生理作用を明らかにするため、細胞の分化や生存、細胞内情報伝達系に及ぼす影響を研究しています。植物成分を利用した老化や癌化、神経変性疾患の治療法や予防法を考えます。

出張講義テーマおよび概要

- No.020 「体の中のみぎ・ひだり」～薬物のキラリティーについて～**
くすりを安全に服用する上でくすりのキラリティー（光学活性）が何故問題になるのかを説明するとともに、光学活性の研究に必要な分析法について紹介します。



教授 ^{しぶかわ} 澁川 ^{あきまさ} 明正
(薬学博士)

【略歴】京都大学大学院薬学研究科助教授を経て現職

【専門分野】薬品分析化学

【研究概要】分離分析法を用いた新規結合分析法の開発と応用

出張講義テーマおよび概要

- No.021 放射能と放射線**
放射線の正体や、Gy（グレイ）、Sv（シーベルト）の単位等、この分野で用いられる用語やその意味について解説します。

- No.022 薬学の放射化学**
薬学と放射線という一般には一見関連の低いような内容の放射化学を、前職（病院系）での経験や具体的な画像診断（PET、SPECTカメラ等）の事例を交えて解説し、放射性薬品や核医学に対する理解を深めます。



教授 ^{すぎもと} 杉本 ^{かんじ} 幹治
(博士(医学))

【略歴】京都大学大学院薬学研究科修了後、大阪大学附属病院放射線部、滋賀県立成人病センター研究所を経て現職

【専門分野】放射性薬品化学、放射化学（現在は薬品分析学研究室所属）

【研究概要】臨床用放射性診断薬の研究・開発（現在は新規の薬品分析学的手法の研究・開発）。

出張講義テーマおよび概要

- No.023 なぜ、ケガをするのだろうか？**
筋力や柔軟性が劣るからスポーツ活動中にケガをするのでしょうか？スポーツ傷害の発生原因および予防法について解説します。

- No.024 ダイエットするの？**
今の女子中高生の骨が危ない！やせる必要がないのにダイエットに取り組む害について解説します。

- No.025 介護予防トレーニング**
高齢者の方々が要介護にならないために、体力トレーニングが行われています。実際にトレーニングを体験しながら、その有効性について解説します。



教授 ^{た い な か} 田井中 ^{こうじ} 幸司
(博士(スポーツ健康科学))

【略歴】順天堂大学運動生理学研究室研究生を経て現職

【専門分野】運動生理学

【研究概要】高齢者における介護予防のための体力および運動のあり方、スポーツ競技者の傷害に対する予防およびリハビリテーション。

出張講義テーマおよび概要

No.026 植物からの贈り物～人間の歴史とともに始まった薬の歴史～

草根本皮、動物、鉱物の中から長い年月をかけて試行錯誤の結果、薬用資源が見い出されてきました。植物から取り出された医薬品、さらにそれらをヒントとして創り出された医薬品などを基原植物とともに紹介します。

No.027 ユーカリとコアラ（有袋類）の関係

ユーカリはコアラの食物として知られていますが、ユーカリ属植物には特有の成分が特異的に含まれています。コアラなどの有袋類の食性とユーカリ属植物に含まれる成分との興味ある関係を易しく解説します。

No.028 漢方薬とはどんなものなのでしょうか？

漢方薬の成り立ちや使われ方についてやさしく解説します。



たかさき
教授 高崎 みどり
(博士(薬学))

【略歴】京都薬科大学講師を経て現職。日本生薬学会、日本薬学会、日本癌学会、日本フードファクター学会所属

【専門分野】生薬学、天然物化学、漢方医薬学

【研究概要】植物や生薬に含まれる生理活性成分の探索とその構造解明、漢方処方の薬効と生薬の有効成分との関わりの科学的解明。

出張講義テーマおよび概要

No.029 微生物のポリアミン

ポリアミンは生命に必要不可欠な物質で、近年、病原性細菌など多くの微生物の生存や病原性発現に重要な役割を果たしていることがわかっています。微生物が様々な環境でなぜ細胞増殖できるのかを説明します。



てるい ゆうすけ
教授 照井 祐介
(博士(生命科学))

【略歴】東京薬科大学大学院生命科学研究科博士課程修了後、千葉大学大学院薬学研究科博士研究員を経て現職。日本生化学会、日本分子生物学会、日本薬学会

【専門分野】病態生化学

【研究概要】主に「ポリアミンによる細胞増殖促進機構」について研究しており、ポリアミンが細胞増殖にどのように働くかを分子レベルで解析しています。ポリアミンは全ての生物に存在するため、細胞増殖に関連する疾患であるガンの治療薬や抗生物質などにポリアミンが応用できるのではないかと期待されています。

出張講義テーマおよび概要

No.030 薬物の投与形態（剤形）の種類と特徴

薬物の投与形態（剤形）の選択は、有効かつ安全な薬物療法を確立するために重要な要因の一つです。本講義では剤形の種類（錠剤や注射剤など）と特徴を、臨床における実際の使用例を取り上げながら解説します。



はば まさみ
教授 巾 正美
(博士(薬学))

【略歴】名古屋市立大学大学院薬学研究科博士前期課程修了後、明治製菓(株)薬品総合研究所、名古屋市立大学薬学部助手、信州大学医学部附属病院薬剤部を経て現職。日本薬物動態学会、日本医療薬学会、日本TDM学会所属

【専門分野】薬物動態学、製剤学

【研究概要】患者に対して最適化された薬物療法を提供していくための研究の一環として、骨髄移植前処置薬や添付文書情報を中心に薬物血中濃度の解析と投与設計を多角的側面から研究しています。

出張講義テーマおよび概要

No.031 スポーツファーマシストとドーピングの話

禁止成分が入っている医薬品やサプリメントを知らずに飲んでしまっただけでドーピング違反になる“うっかりドーピング”は、薬剤師と上手に付き合うことで防ぐことが可能になります。飲んではいけない薬と飲んでも大丈夫な薬、漢方薬やサプリメントの注意点など、アスリートに役立つ情報をスポーツファーマシストの立場から解説します。



教授 生城山 勝巳
(薬剤師、博士(薬学))

[略歴] 千葉県茂原市出身。千葉大学薬学部卒、同・大学院薬学研究科修士課程修了後、薬剤師として東京通信病院、井上記念病院等に勤務。千葉科学大学薬学部准教授を経て現職。公認スポーツファーマシスト、日本災害医学会・災害薬事研修コース(PhDLS)インストラクター

[専門分野] 救急・災害薬学、臨床薬物動態学、医薬品情報学

[研究概要] 医薬品の効果・副作用には個人差があり、関係する要因として、遺伝、ホルモン、年齢、併用薬、飲食物などがあります。現在、医薬品の効果・副作用の性差や救急・集中治療現場における医薬品の適正な使い方について、医薬品情報学の立場から解析しています。

出張講義テーマおよび概要

No.032 大聖堂建設の歴史

幾世紀に及ぶ大聖堂建設の歴史を、それを創った建築工匠の活躍に焦点を当て、古代から、宗教改革期までを視野に入れてお話しします。シャルトル大聖堂、ストラスブール大聖堂、ヴィーン大聖堂建設の歴史を通してヨーロッパ世界の大聖堂についてお話しします。

No.033 シャルトル大聖堂建設の歴史

シャルトル大聖堂は、12世紀末から前身建物の地下の上に建設され、数十年で完成をみました。前身建物に遡ってシャルトル大聖堂の歴史を辿ります。

No.034 ストラスブール大聖堂建設の歴史

ストラスブール大聖堂はライン川流域の建築工匠たちとシャルトルからきた建築工匠たちそして再度ライン川流域の建築工匠たちが建設工事を指揮しました。この五百年に及ぶ建設工事についてお話し致します。

No.035 ヴィーン大聖堂建設の歴史

ヴィーン大聖堂の歴史は、シャルトルやストラスブールと共に、ヴィーンがヴィンドボナと呼ばれていた古代ローマに遡ります。一四五九年、神聖ローマ帝国内の大聖堂建築工匠たちの会議において、ヴィーンは、ストラスブール、ケルンとと共に帝国内の建築工匠をまとめる立場になります。ヴィーン大聖堂建設の歴史とともにヴィーンとストラスブールの建築工匠の交流についてもお話し致します。



教授 坊城 俊成
(工学・東京大学)、ソルボンヌ大学文学博士課程前期修了ディプロマDEA、フランス政府公認建築家DPLG

[略歴] 東京大学工学部建築学科卒業、東京大学大学院修士課程修了、フランス政府給費留学生として渡仏、旧エコール・デ・ボザールパリ＝ベルヴィル建築大学修了、ソルボンヌ大学博士課程前期修了、博士(工学・東京大学)。2012年～横浜美術大学客員教授、2017年～千葉科学大学教授

[専門分野] フランス芸術史、大聖堂史、中世建築工匠史

[研究概要] 大聖堂は芸術の至上性を現した建築であり、シャルトル学派にみられるように学問・芸術の発展に貢献しました。大聖堂建設の歴史を中世建築工匠の活動に着目して研究しています。具体的には、十五世紀ストラスブール大聖堂建築工匠が書き残した画譜の建築的分析を通して、地理的にはフランク王国全体、時代的にはメロヴィング朝、カロリング朝から宗教改革期までを視野に入れ、現在の国境や時代様式を越えて、大聖堂建設とそれを指揮した建築工匠の活動に関する研究を進めています。

出張講義テーマおよび概要

No.036 薬学への招待

薬学部では何を学ぶのか、薬学科と生命薬科学科の違い、薬学部の就職先等について分かりやすく説明します。

No.037 くすりの飲み合わせ食べ合わせ

くすり同士の飲み合わせ、また食べ物、飲み物とくすりの食べ合わせにより起こる思わぬ副作用や薬理作用の低下について、分かりやすく解説します。

No.038 薬の効き方の個人差

くすりの効き方の個人差について、くすりの生体内での運命を考えながら、分かりやすく解説します。

No.039 薬はどうして効くの？

くすりが病気を治すメカニズムについて、「鍵と鍵穴」などを使って分かりやすく説明します。

No.040 危ない乱用薬物

薬学からみた乱用薬物使用の危険性について、高校生に対して分かりやすく説明します。



教授 細川 正清
(薬学博士)

[略歴] 千葉大学大学院薬学研究科博士課程修了後、東京薬科大学薬学部助手、米国NIH客員研究員、千葉大学大学院薬学研究科助教授を経て現職。内閣府食品安全性委員会専門委員、日本薬物動態学会、国際薬物動態学会(ISSX)、日本薬理学会評議員、日本末病学会評議員、日本生化学会

[専門分野] 薬物動態学

[研究概要] 主に「からだの中のくすりの運命」について研究しており、ヒトの遺伝子のわずかな違いが「くすりの運命」を変えてしまうことに興味を持って研究しています。例えば、抗がん剤では、あるヒトには良いくすりとなって、完全にがんがなくなりますばらしい治療効果があるのですが、別のヒトには同じくすりが重大な副作用をもたらす場合があります。私たちの研究室では、この原因となる遺伝子上の違いを見つけ出すことにより、個人個人のくすりの使い方を考え、患者さんが安全にくすりを使えることを目的としています。

出張講義テーマおよび概要

No.041 生物の設計図DNA（講義と実習）

すべての生き物に共通の遺伝情報物質DNAの構造について、学びます。そして、実際に家にある用具だけを使用して、適当な生物材料からDNAをとりだして、観察してみます。

No.042 新型インフルエンザ感染症のリスクマネジメント

インフルエンザウイルスはどのようにして感染するのか、治療薬のタミフルはどのようにしてウイルスを撃退するのか、感染を予防するにはどうしたらよいのかなど、疑問にお答えします。

No.043 ヒトと動物の共通感染症～ペットとのよいおつきあい～

人畜共通感染症、ヒトと動物の共通感染症について発生経路、動物との接し方などについて解説します。ネコひっかき病、鳥インフルエンザ、腸管出血性大腸菌、レプトスピラ、ライム病など。



教授 増澤 俊幸
(薬学博士)

【略歴】静岡県立大学薬学部助教授を経て現職

日本レプトスピラ研究会、人と動物の共通感染症研究会、日本細菌学会、日本薬学会

【専門分野】感染症学、細菌学

【研究概要】動物由来感染症の分子疫学的研究：国内、海外の動物由来感染症起因微生物を調査し、その遺伝学的性質などを分析して、分類、診断、予防などの防疫対策の確立に寄与するデータを提供する研究を行っています。国際協力機構（JICA）、化学技術振興機構（JST）の援助のもと、フィリピンにおけるレプトスピラ症の迅速診断法の確立と制御に関する研究をフィリピン大学と共同で行いました。

出張講義テーマおよび概要

No.044 体の中での薬の動き

飲み薬は胃や腸で溶け、吸収されて、血液にのって目的の場所に到達します。体は薬を解毒することができるので、薬はやがて体内からなくなります。体内での薬の動きや変化は、薬の効果に大きく影響します。この薬の動きと効果の関係を概説します。

No.045 くすりのリスク

薬は「諸刃の剣」とよく言われます。薬を安全に使うには、副作用についての理解が必要です。目的とする薬の作用と副作用との関係、副作用の起きるメカニズム、副作用を軽減させる方法について、薬の肝臓に対する副作用を中心に概説します。



教授 榊 泰宏
(博士（薬学）)

【略歴】千葉大学薬学部卒・千葉大学大学院助教授を経て現職、日本薬学会、日本医療薬学会、日本薬物動態学会、日本臨床薬理学会、米国臨床薬理学会所属

【専門分野】生物薬剤学、臨床薬剤学、毒性学

【研究概要】薬の副作用の一つに肝臓に対する障害があります。薬毒性肝障害の発症メカニズムに関する基礎研究を行っています。特に、反応性代謝物の生成、ミトコンドリア障害、炎症性サイトカインおよび消化管由来内毒素の関与に焦点を当てています。副作用の発症メカニズムを解明し、さらに副作用を回避する手段を研究しています。

出張講義テーマおよび概要

No.046 加齢と老化～年はとりたくないけれど～

私たちの体は生まれたその時から着実に変わって行きます。時間の経過とともに体の中で何が起ころのでしょうか。細胞の中の情報の伝わり方がちょっと変わるだけで細胞や身体の働きに大きな影響が出て来ます。身体をちゃんと働かせている仕組み「シグナル伝達」を知れば、老化の進み方を変えたり、若返ることも夢ではありません。

No.047 科学的な考え方・論理的な表現～ほんとかな？～

教科書や本、テレビや有名人が言っていることは当然のこと、正しいこととして受け取られがちですが、本当にそうでしょうか。関連があるということと因果関係があるということも（意図的でないにしても）混同されがちです。身の回りにあふれている情報を見直して、科学的・合理的な考え方を身に付けましょう。



教授 松岡 耕二
(薬学博士)

【略歴】北海道大学薬学部卒、東京都老人総合研究所生体情報部門研究員（その間、豪州ニューサウスウェールズ大学、東京大学医科学研究所、米国ラトガーズ大学等の客員研究員）を経て現職

【専門分野】細胞生物学

【研究概要】＜細胞を育てて生命の仕組みを学ぶ＞私たちは細胞の老化・がん化の仕組みを研究しています。生体から取り出して培養している細胞・組織（結合組織、骨、神経）を研究対象として、その機能を制御している情報・シグナルの伝達を分析し、それらの人為的な調節手段の作出を目指しています。年取った細胞が若返ったり、がん細胞が正常に戻ったりしたら素敵ですね。

出張講義テーマおよび概要

No.048 記憶のメカニズム(赤の下敷き、緑のペンの記憶法は何故ダメか?)

一夜漬けで失敗したことは? ノートをしっかりまとめているのに、そのCOPYを持っている友人は合格して、自分が落第したことは? 「暗記パンがあつたらなあ」と思ったことは? 記憶のメカニズムを理解して、効率の良い学習法を提案します。心理学を応用した斬新な学習法の提案。

No.049 薬の魔法使い、“薬の錬金術師” になりませんか?

世界で一番売れている薬ってなんだろう? 風邪は世界中にあるから風邪薬かな??? その一番の薬って酒樽に生えたカビから作られたんです。風邪を引くとネギを焼いて喉に当てる。料亭で出てくる楊枝は、何故、柳の楊枝か? 足が冷えたとき唐辛子を靴の中に入れるのは何故……このような身近な薬の蘊蓄(うんちく)から薬学の世界の魅力をお話します。

No.050 好きなものを食べても太らない、魔法の食事法

細胞内に糖を取り込むインスリンの作用は、糖尿病に関わっていることを知っていると思います。この機構を利用したダイエット法や、筋肉強化法があります。これを題材に、エネルギー代謝の基礎を学びます。

No.051 コレステロールって何故、悪者にされるんでしょう?

血液中のリポタンパク質が血管壁に蓄積する動脈硬化のメカニズムとその予防について、身近な食品を題材に解説します。

No.052 RNA ウィルスは生命の起源(ウィルス疾患の恐ろしさ)

日本人に多い成人T細胞白血病と、癌ウィルスの関係を題材に、体の細胞がどうして癌になるのか? RNAウィルスは、どのようにして病気を引き起こすのか? さらには何故、我々はDNAを持つに至ったのか… お話します。

No.053 胃潰瘍にならないためには(夜明けのコーヒーは何故ダメか?)

試験前に徹夜をしてコーヒーを飲むと、胃がシュクシュクする。スターバックスのコーヒーに、何故シナモンパウダーを入れるのか? 胃酸分泌の機構を題材に、食物の消化の機構とその神経支配について学びます。



教授 もり まさひろ
森 雅博
(薬学博士)

【略歴】1990年、東京大学大学院薬学系研究科博士課程修了、同年帝京大学薬学部微生物・病態生化学講座助手を経て、米国NIH(国立衛生研究所) NHLBI(心臓、肺、血液研究部門) 研究員を経て、2006年、千葉科学大学薬学部准教授を経て現職、American Society for Cell Biology, International Atherosclerotic Society

【専門分野】循環器疾患とその病理、血管細胞生物学、ならびに分子病理学、動脈硬化の進展抑制の治療薬の開発、低侵襲的診断法の開発、血管細胞の壊死に関する研究を行っています。

【研究概要】診断薬の開発を意図に動脈硬化病巣に特異的に結合する抗体を作成し、その抗原脂質が泡沫細胞の死に関わることを解明、その阻害機構を解析しています。この機構が解明されれば、新しい動脈硬化進展抑制薬の開発につながります。

出張講義テーマおよび概要

No.054 薬剤師資格と薬学部で学ぶこと

薬剤師とはどのような職業か。薬剤師資格を利用した仕事にはどのようなものがあるのか。就職状況などを含め分かりやすく説明すると共に、薬学部での学ぶ内容について紹介する。

No.055 体験実験を伴う「薬物乱用防止教室」の実施

麻薬・覚せい剤や危険ドラッグ等の危険性を周知・理解するための「薬物乱用防止教室」を実施する。その際、薬物に関する体験実験を取り入れることで、印象に残りやすい防止教室を実施する。ただし、実験の実施には人数等の制限あり(要相談)。

No.056 エイズ感染の現状と新治療薬の創り方

エイズ(AIDS)の感染状況とその治療法について紹介すると共に、最新の治療薬の開発方法を分かりやすく紹介する。

No.057 クエン酸と重曹を利用した実験

クエン酸と重曹との化学反応により発生する二酸化炭素を利用して、発泡入浴剤(バスフイス)を作成する理科実験を行う。

No.058 小学生向きサイエンスショー(どれか1つ)

「スライム・人工いくら作成」、「空気砲」、「ドライアイスの不思議」のどれか1つについて体験実験を行う。



准教授 おおたか ひろやす
大高 泰靖
(博士(工学))

【略歴】岡山理科大学大学院工学研究科博士課程修了後、ジョーンズ・ホプキンス大学博士研究員・助手を経て現職

【専門分野】熱測定、分析化学、生物物理学、薬物乱用防止教育
【研究概要】薬物治療において、複数の治療薬を併用することが多いです。特に、高血圧・糖尿病などの生活習慣病に係る薬は多いです。しかし、薬物併用(飲み合わせ)による影響はまだ未知なことが多いのが現状です。

私はこの治療薬の飲み合わせに注目し、血液中において治療薬同士がどのように影響し合うかを調査しています。これらの結果から、患者さんの副作用の低減や、薬の効き目に個人差がある現象の解明、各人の健康状態に応じて薬の量を調整するテーラーメイド医療に役立てようと考えております。

出張講義テーマおよび概要

No.059 脳の成長～増殖と分化～

脳は、神経細胞、アストロサイトおよびオリゴデンドロサイトで構成されています。これらの細胞がどのようにして生み出されるのかおよび脳の構成や機能について解説します。



准教授 かわだ こういち
川田 浩一
(博士(薬学))

【略歴】日本学術振興会特別研究員、摂南大学薬学研究科博士後期課程を修了後現職

【専門分野】神経薬理学

【研究概要】アルツハイマー病などの中枢神経変性疾患は治療法が明確にされていませんが、近年、その治療法の一つとして再生医療が注目されつつあります。私たちの研究室では、この再生医療の研究を行う上で重要な『分化』について研究しています。特に、脳神経系において機能的な神経細胞への分化を制御することは非常に重要です。この分化を制御する一つの手段として小胞体ストレスに注目し、培養細胞、遺伝子改変動物を用いて研究しています。

出張講義テーマおよび概要

No.060 微生物の利用

私たちの生活には非常に多くの微生物が関わっており、様々な分野で利用されています。これらの微生物がどのような所で働いているか、また微生物がどのようなものを作り出し、それがどのように利用されているかを紹介します。



准教授 小林 照幸
(博士(薬学))

【略歴】静岡県立大学大学院薬学研究科博士課程修了後、神奈川大学理学部ハイテクリサーチセンターポストドクターを経て現職

【専門分野】生化学、分子生物学

【研究概要】細菌は環境の変化に対して適切な遺伝子を適切な量で発現させることにより対応しています。栄養源に対する応答もその一つですが、様々な栄養源が同時に存在する場合に細胞内でどのような調節が行われているかはあまりよく分かっていません。私はこれらの代謝調節機構の解明を目的として研究を行っています。

出張講義テーマおよび概要

No.061 薬局・ドラッグストアと薬剤師

薬局とドラッグストアの違い、そこで薬剤師はどのような仕事をしているのか。医薬品医療機器等法(旧薬事法)及び薬剤師法との関係も交えて分かりやすく説明します。

No.062 医薬分業とかかりつけ薬局

医薬分業とは何か。医薬分業は患者にとってどのようなメリットがあるのか。かかりつけ薬局とお薬手帳についての解説も交えて分かりやすく説明します。



准教授 仁藤 慎一
(博士(薬学))

【略歴】東邦大学大学院薬学研究科修士課程終了後、東邦大学薬学部助手を経て現職。日本薬学会、日本社会薬学会、日本薬剤師会

【専門分野】社会薬学

【研究概要】医薬品に関わる法律、制度及びそれらと医薬品等を取り扱う人々(薬剤師等)、使用する人々(患者、消費者)との間に生じる社会的課題について研究しています。

出張講義テーマおよび概要

No.063 モノ作りに挑戦 果物の香りを作ろう(講義と実習)

果物の香り成分はエステルと呼ばれる化学物質です。原料からは想像することすら難しいほどの香りの変化を感じることでできる実験を行い、有機化学の基礎的な反応であるカルボン酸とアルコールの脱水縮合反応について分子模型を用い解説します。(所要時間1~3時間)

No.064 モノ作りに挑戦 合成繊維を作ろう(講義と実習)

ナイロンは1950年代に開発され、現在も使用されている合成繊維です。このナイロンはタンパク質をモデルとして作られました。透明な溶液から繊維が紡ぎだされる見た目も派手な実験を行い、有機化学の基礎的な反応であるカルボン酸とアミンの脱水縮合反応について分子模型を用い解説します。(所要時間1~3時間)

No.065 立体分子模型を作ろう(講義と実習)

ビル型の立体周期表を作り、平面の周期表では表現できなかった元素の性質について解説します。(所要時間1~2時間)



准教授 野口 拓也
(博士(理学))

【略歴】富山大学理工学研究科博士後期課程終了後、静岡理工科大学非常勤講師を経て現職

【専門分野】有機化学

【研究概要】簡便なペプチド結合(-CONH-)形成反応を開発し、これまでにペプチド合成、第一級アミド化、アセトアミノフェン類縁体の合成に成功している。現在はこの研究の応用として水溶性医薬品の合成を行い、医薬品の副作用軽減に取り組んでいる。

出張講義テーマおよび概要

No.066 細菌と食中毒

未だに腸管出血性大腸菌O157や、腸炎ビブリオによる細菌性食中毒が問題となりますが、それら食中毒を引き起こす細菌の特徴と、その予防について解説します。



准教授 ^{ふくい たかし}
福井 貴史
(博士(医学))

[略歴] 静岡県立大学大学院薬学研究科、大阪大学大学院医学系研究科修了後、千葉科学大学助手、助教、講師を経て現職

[専門分野] 病原細菌学

[研究概要] 病原微生物が感染すると病気になることはわかっており、病気の発症と関連した病理学的変化が報告されていますが、実はなぜその症状がおきるのか？といったことはまだまだわかっていないことがあふれています。こうしたことから、病原細菌、特にスピロヘータの一種であるレプトスピラに関して、病原因子としての蛋白質がどのように宿主側と相互作用し、病原性を発揮するのかという点から、病原細菌の感染メカニズムの解明を目指したいと考えています。

出張講義テーマおよび概要

No.067 化粧品は何からできている？

化粧品を構成する化学物質や化粧品の作り方についてお話しします。また、簡単な化粧品作りを実演します。

No.068 研究者へのいざない

研究とは何なのか？この単純な疑問について大学と企業での科学研究活動を例に挙げて解説し、研究者に至るまでの道のりを紹介します。

No.069 大学で学ぶこと

高校と大学で学び方は何が違うのでしょうか？薬学部のカリキュラムを例に、大学での“学び”について紹介します。



准教授 ^{やました ゆうじ}
山下 裕司
(Ph.D.(Natural Science))

[略歴] バイロイト大学理学部物理化学科を卒業後、チッソ石油化学(株)・研究員、聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター・ポストドクターを経て現職

[専門分野] コロイド科学、界面科学

[研究概要] 両親媒性物質(界面活性剤)は分子内に水に親和性のある部分と油に親和性のある部分を持つため、バルク溶媒中で分子が自発的に集合する“自己組織化”という現象を伴います。このように形成されたナノサイズの集合体(自己組織体)を様々な物理化学的手法により解析し、両親媒性物質の特性や溶媒との相互作用について研究しています。

出張講義テーマおよび概要

No.070 薬学紹介

医薬品を用いた結核や癌などの治療、薬剤師の仕事、また薬学分野の研究の一つとして薬物受容体などの生体内タンパク質の立体構造解析といった薬学に関係したことについて解説します。



講師 ^{きつこう たつひこ}
亀甲 龍彦
(博士(薬学))

[略歴] 京都大学大学院薬学研究科を経て現職

[専門分野] 薬品分子構造学

[研究概要] NMRやAFMを用いて薬物受容体タンパク質や疾患関連タンパク質などの構造機能解析を行っています。

出張講義テーマおよび概要

No.071 くすりはどのように治療に関わるか？

薬学部では、生命維持のしくみに始まって、からだに作用する薬のことや病気の知識を学びます。非常に盛り沢山で、覚えられるか不安ですよね。でも大丈夫です。疾患治療における必然的な考え方、IRAC（アイラック）を使えば、全部ひとまとめにして捉えることができます。例題を用いて、薬学部で学ぶ内容と学ぶ楽しさの両方を体験できる機会を提供します。



講師 たかはし まさき
高橋 真樹
(博士(薬学))

【略歴】富山大学大学院生命融合科学教育部博士課程を経て現職

【専門分野】構造生物学、蛋白質科学、細胞生物学

【研究概要】誰のからだにも存在するsmall dense LDL (sdLDL) が、私たちが悩ます動脈硬化性疾患(例として心筋梗塞)と関連があることが分かっていますが、メカニズムについては不明な点があります。「動脈硬化は血管における慢性炎症である」という考えに基づいて、sdLDLはnative LDLよりも炎症反応を惹起しやすいという仮説を立て、sdLDLの分画方法とその機能(炎症反応への影響)解析に取り組んでいます。

出張講義テーマおよび概要

No.072 歴史学

文学部史学科で行われる歴史学とは何を学ぶところなのか、「史料」に注目しつつ簡単に解説します。

No.073 イスラームの教義

世界に15億人の信徒がいるといわれるイスラーム教の信仰体系をわかりやすく解説します。

No.074 イスラームとキリスト教

同じ神を信仰する二つの宗教はなぜ対立しているのか、教義上の問題点と歴史的経緯を説明します。

No.075 アラビア科学

現代文明で用いられている科学知識の基礎をなす成果を提出した「アラビア科学」の歴史と具体的な研究成果の内容について解説します。



講師 はしづめ れつ
橋爪 烈
(博士(文学))

【略歴】学習院大学文学部史学科、慶應義塾大学大学院文学研究科史学専攻(修士課程)、東京大学大学院人文社会系研究科アジア文化研究専攻(博士課程)、日本学術振興会特別研究員(PD)を経て、現職。東大時代にエジプト・アラブ共和国カイロ大学に留学

【専門分野】歴史学 アラブ・イスラーム史

【研究概要】アラビア語写本史料を用いて、9-11世紀のイラク・イラン西部に覇を唱えたブワイフ朝の政権構造を解明する作業を行っています。また同時期の文化史や科学史・思想史についても関心を持っており、政治史とそれらの分野の成果を融合させる研究を進めています。

出張講義テーマおよび概要

No.076 理系学部学科の違いとは?~薬学部ではどんな研究が行われているか?~

薬学部薬学科と他の理系大学各学科ではどんな研究が行われ、何がどのように違うのか?自身の経験を含めて分かりやすく説明します。



講師 みもり せいすけ
三森 盛亮
(博士(農学))

【略歴】工学院大学工学部応用化学科、東京農工大学大学院生物システム応用科学研究所を修了後、同大学大学院連合農学研究科を経て現職。東京農工大学大学院連合農学研究科にて学位取得

【専門分野】分子生物学

【研究概要】動脈硬化症の発症・進展・退縮に深く関与すると予想されるサイトカインのTGF- β に着目し、その構成成分のタンパク質について機能解析を行っています。

出張講義テーマおよび概要

No.077 薬に関する身近な食品

骨はカルシウムだけ摂取していても、なぜできないのでしょうか？また、どうして骨粗鬆症などの骨の病気になるのでしょうか？それらのメカニズムについても説明します。



講師 やなぎさわ やすひで
柳澤 泰任
(博士(工学))

[略歴] 倉敷芸術科学大学大学院産業科学技術研究科機能物質化学専攻博士課程を経て現職

[専門分野] 食品機能学

[研究概要] 食品中の生理活性物質などを探索し、その特性と作用を明らかにし、生活習慣病などの予防薬、治療薬の開発を目指して研究を行っています。

出張講義テーマおよび概要

No.078 光る水でつくる喜びを体験

光る水になるルミノールをつくる実験を体験します(1~3時間)。

No.079 今後どうなる薬剤師？

薬剤師のお仕事を、自身の経験(薬局とドラッグストア)を交えて簡単に解説します。そして目まぐるしく変わる医療現場で、薬剤師のお仕事が今後どのように変化していくのかを解説します。

No.080 電子レンジで光る水をクッキング〜ルミノールの合成〜

家庭で馴染みのある電子レンジを使って、ルミノールを合成します。

No.081 電子レンジで色が変わる水をクッキング〜フェノールフタレインの合成〜

家庭で馴染みのある電子レンジを使って、フェノールフタレインを合成します。(45分~60分)

No.082 電子レンジで解熱鎮痛薬をクッキング〜アセトアミノフェンの合成〜

家庭で馴染みのある電子レンジを使って、アセトアミノフェンを合成します。(60分~90分)



助教 かわしま ゆう や
川島 裕也
(博士(薬科学))

[略歴] 千葉科学大学薬学部卒、同大学大学院薬科学研究科修士課程修了、同大学薬科学研究科博士課程中途退学、同大学薬学部薬学科助手、同大学博士(薬科学)学位取得、現職

[専門分野] 有機化学

[研究概要] 医薬品などの生理活性物質について、環境負荷の少ない簡便合成法の開発を行っています。特にアルツハイマー病治療薬に興味を持ち、その治療薬の創製を目指しています。認知症は本人も家族も大変つらい病気です。その認知症の半数以上がアルツハイマー型認知症であり、この治療薬は世界的に強く求められています。しかしながら、現在使用される医薬品は認知機能が改善されるも、根本的な治療までには至っていません。そこで神経細胞保護作用と記憶改善が見込まれるシグマ受容体に着目し、その刺激薬を合成しています。

出張講義テーマおよび概要

No.083 薬剤師って、なに？

薬剤師って聞いたことはあるけれど、何をしているの？やりがい？そんな疑問に自身の経験と卒業生の声を参考に、就職先・仕事内容・待遇などを解説し、今後の医療業界における薬剤師の役割をお話していきます。

No.084 糖尿病、その先には

よく耳にする糖尿病。本当に怖いのはその先にある合併症です。結果的に失明、人工透析にいたるケースも多くあります。概要をお話し、治療薬についても触れていきます。



助教 きたじま なお き
北島 直希
(学士(薬学))

[略歴] 千葉科学大学薬学部卒業後、千葉科学大学助手。平山病院薬剤部で臨床経験を経て現職

[専門分野] 生薬学、医療薬学

[研究概要] 現代医療で使用される医薬品には、天然物由来のものやそれをリード化合物としたものが多く存在しています。新薬開発の糸口とすべく、天然物からがんや生活習慣病に対する予防・治療効果のある成分探索を研究しています。また、複数の生薬から構成される漢方方剤において、各生薬の併用効果について科学的に検討を行っています。

出張講義テーマおよび概要

No.085 ポリアミンから産生されるアクロレインの解毒機構と医療への応用

アクロレインは、生体内では細胞内に非常にたくさんあるポリアミンから産生され、食用油やタバコの煙にも含まれる非常に毒性の高い不飽和アルデヒドです。この毒性の強いアクロレインが体内でどのように代謝されるか説明します。また、アクロレインの脳梗塞やアルツハイマー病といった疾患マーカーとしての有用性と新薬開発への可能性を解説します。



助教 さかもと あきひこ
坂本 明彦
(博士(薬科学))

【略歴】千葉科学大学薬学部卒業、同大学大学院修士課程修了、同大学大学院博士課程修了後、現職

【専門分野】生化学、病態生化学

【研究概要】生命に必須な物質である「ポリアミン」の生理機能とポリアミンの分解によって生じる毒性物質「アクロレイン」の毒性メカニズムについて研究しています。ポリアミンは、アンチエイジングの効果、アクロレインは細胞障害性のマーカーとして有用であると期待されています。

出張講義テーマおよび概要

No.086 薬学への招待

薬学部で学ぶ内容、就職先などについて説明します。学ぶ内容の具体例として薬物動態学(薬がどのようにして体内に取り込まれ、効果を発揮し、最後に体の外へ出ていくのか)について簡単に解説します。

No.087 天然から発見された医薬品の造り方

薬が発見されてから工場で造られるようになるまでの流れを紹介します。現在市販されている薬の中には植物や海洋生物、微生物などから発見されたものが多く存在しています。これらの薬がどのようにして研究所や工場で合成されるのかについて解説します。

No.088 危険ドラッグについての話

危険ドラッグ使用の危険性、脱法ハーブや合法ドラッグなどの言葉の違い、どのようにして新しい危険ドラッグが次々と生み出されていくのかについて化学的に解説します。



助教 たかはし まさと
高橋 正人
(博士(薬学))

【略歴】千葉科学大学薬学部卒業、千葉大学大学院医学薬学府博士過程修了後に現職

【専門分野】有機合成化学、薬物動態学

【研究概要】薬物の体内動態と化学合成法について研究しています。現在市販されている薬物や植物・微生物などから発見された生理活性物質を簡便に化学合成するための研究を行っています。また、現在市販されている医薬品の吸収性改善や副作用軽減などを目的としたプロドラッグ化研究を行っています。

危機管理学部

出張講義テーマおよび概要

No.089 今、私達はどのような社会に住んでいるのか

No.090 考えるということについて

No.091 危機管理の素養について

No.092 欧米諸国と日本の違いについて

No.093 日本の外交・安全保障政策について

No.094 日本が直面する最大の課題について

No.095 難民・移民問題における日本の問題について

No.096 大学において何を学ぶことができるのか

将来の志望が明確な人も、そうでない人も、社会で仕事をすることによって、ということが必要ということ、自分の経験を通して対話します。



あずま しろう
教授 東 祥三
(国際経済学修士)

[略歴]国際連合職員として、オーストリア、ジュネーブ、コスタリカ、ホンジュラス、エチオピア、トルコ等で勤務。衆議院議員として、外務政務次官、外務副大臣、内閣副大臣等の経験を経て現職

[専門分野] 外交・安全保障、国際関係論、国家危機管理
[研究概要] 国家の危機管理(クライシス・マネジメント)を研究しています。日本の危機管理の発想は、自然災害対策に象徴されます。事前対応型で想定主義に依存する発想です。しかしそれだけでは、国家の危急存亡の時、その発想に限界を示すことになります。この発想の起源はどこにあるのか、そして、この発想の限界を乗り越える発想とは何なのか、その発想に基づいた新しい国家危機管理体制を追求したいと思います。

出張講義テーマおよび概要

No.097 遺伝子組換えと私たちの生活

遺伝子組換えとは、どんな技術なのでしょう。現代に入って開発された新しいと言って良い技術です。しかしながら、急速に普及し私たちの日常生活の中に溶け込んでいます。食品表示を見ると「遺伝子組換えではない」という表示をよく目にすると思います。ところで、遺伝子組換え技術とは、具体的にはどんな技術なのでしょう。そして、どのようなところに使われており、どのようなことに使われようとしているのでしょうか？

この遺伝子組換え技術について説明し、もう既に私たちの生活の中で使われている遺伝子組換え技術や製品、適用するとよりよいことが期待できる分野などを紹介いたします。また、この技術によって得られる生活の向上と安定(利得)、そしてリスクについていっしょに考えたいと思います。



いしだ のぶひろ
教授 石田 信宏
(理学博士)

[略歴]名古屋大学生物学科卒業
東京大学大学院博士課程理学系研究科修了後、サントリー(株)生物医学研究所研究員、東京都臨床医学総合研究所主任研究員
千葉科学大学危機管理学部教授(現在に至る)

[専門分野] 分子生物学・糖鎖生物学
[研究概要] 学部研究では、生物および環境教育のための教材開発研究や、バイオ技術を使った専門テーマの研究を行っています。
専門研究では、解毒物質(UDP-グルクロン酸)輸送体に注目した環境ホルモン排泄機構の分子・細胞生物学的な研究と糖ヌクレオチド輸送体ファミリーの遺伝子操作を中心とした解析を行っています。

出張講義テーマおよび概要

No.098 リスク認識の心理学、内部告発の心理学

リスクに関する人間の考え方やリスク認識と安全確保に関する関連性について概説します。また、組織不正を抑止するための内部告発に関する心理学的な知見を概説します。



おう しんみん
教授 王 晋民
(学術博士)

[略歴]富士通株式会社、図書館情報大学、科学技術振興機構などを経て現職

[専門分野] 認知心理学、社会心理学、組織心理学
[研究概要] 危機・リスク管理に関連する心理学の特性や企業の組織風土などに関する実験・調査を行い、人間行動の基本特性に基づいて危機管理のあり方を検討しています。

出張講義テーマおよび概要

No.099 隣国同士が仲良くする方法

隣り合った国同士は昔から、さまざまな紛争を起こし、対立を抱えてきました。私たちが住むアジアも例外ではありません。しかし昔と異なり、政治、経済、社会のどの分野をとっても、国は周辺諸国や国際社会と協力していかなければ発展することができない時代を迎えています。日本、中国、韓国、東南アジア、南アジアを中心に、世界中の国々が、どうすれば共存共栄を図ることができるのか、実際に現場で見聞きた多くの事例を挙げて考えてみたいと思います。そのために日本の若者が果たすべき重要な役割についても提案します。

No.100 大衆文化を分析しよう

今、東アジアでは、「日流」や「韓流」、「華流」と呼ばれる各国のドラマや歌謡曲（一般に「大衆文化」と呼ばれています）が、国境を越えて多くの人々に楽しまれています。しかし、ドラマや歌を楽しんでいるだけでは、本当の国際理解・友好親善には結びつきません。ドラマや歌の中に潜む各国文化の独自性を見つけることで、互いの文化を尊重する気持ちが生まれてくるのです。日中韓各国の大衆文化を紹介するとともに、その文化が生まれた政治・社会・経済の背景を分析すれば、ほら、その国のことが、今まで以上に良く理解できるようになりますよ。



教授 おおさわ ぶん 文護
(博士(危機管理学))

【略歴】広島大学政経学部法律政治学科卒。千葉科学大学大学院危機管理学研究科危機管理学専攻（博士課程後期）修了。毎日新聞マニラ支局長、ソウル支局長、東京本社編集編成局編集委員を歴任して現職。日本記者クラブ会員、総合危機管理学会会員、現代韓国朝鮮学会会員、朝鮮学会会員

【専門分野】国際危機管理論（朝鮮半島情勢）、東アジア・東南アジア情勢、国際安全保障論

【研究概要】朝鮮半島、東南アジア、南アジアで、長く、大手メディアの海外特派員として活動してきた経験をもとに、日本とアジア各国を中心にした国際的な危機管理政策や安全保障問題を研究しています。特に朝鮮半島と日本の間に存在するさまざまな危機発生要素をどのようにすればコントロールすることができるかを分析・提案してきました。

出張講義テーマおよび概要

No.101 臨床検査技師の仕事と感染対策

臨床検査技師は、病院などで働く医療従事者であり、臨床検査をおこなう検査の専門家です。臨床検査は、尿や血液など体から取り出されたものを調べる検体検査、心臓の状態を把握する心電図や内臓の様子をしらべる超音波検査などがありこれら臨床検査技師の仕事について解説します。さらに臨床検査技師が関わるチーム医療について、院内感染対策を取り上げて解説します。

No.102 身近な感染症のうつるしくみと予防

インフルエンザやノロウイルス、細菌性食中毒など身近な感染症について、病原体の正体、感染経路、感染対策、マスクや手指衛生、吐物処理などの重要性について、わかりやすく説明し、感染症の蔓延防止・予防について解説します。



教授 おおしま としお 利夫
(博士(医学))

【略歴】北里大学衛生学部卒業、杏林大学大学院医学科博士課程修了

日本歯科大学病理学教室、東海大学医学部付属病院勤務を経て現職

【専門分野】臨床微生物学、感染制御学、遺伝子検査学

【研究概要】臨床微生物検査における病原菌をテーマに *Clostridium difficile*, *MRSA*, *P.aeruginosa* など院内感染原因菌について検査データや臨床データによる解析、分子生物学的方法による疫学調査などの研究を行っています。また、病院検査における遺伝子・染色体検査教育にも取り組んでいます。

出張講義テーマおよび概要

No.103 人の1億倍！？犬の嗅覚のヒミツ

においとは実は化合物なのですが、犬は人の体臭成分である脂肪酸なら人の1億倍においがわかります。また、災害などでストレス状態になるとストレス臭も出ます。それら化合物のにおいを認識できる能力を生かしているのが災害/捜索救助犬なのですが、その活動事例を交え、犬の嗅覚のヒミツを科学的に解説します。

No.104 ペットの災害に対する備えとは

災害時に飼い主さんとしてペットのためにできる知識と物資の備えについて、西日本豪雨や東日本大震災などの事例を交え詳しく解説します。

No.105 言葉を話せないペットの病気を早期発見するポイント

犬猫やウサギなどペットの健康寿命を延ばすためには、病気の早期発見が必要です。そのポイントを事例を交え解説します。



教授 おし まさもり 守
(博士(獣医学))

【略歴】日本大学農獣医学部獣医学科卒業（獣医師）、日本大学大学院獣医学専攻博士課程修了、動物病院院長を経て現職。日本動物看護学会常任理事・編集委員、獣医アトピー・アレルギー・免疫学会編集委員、日本獣医エキゾチック動物学会監事・編集委員、NPO法人獣医学教育支援機構 vetOSCE委員、NPO法人日本捜索救助犬協会顧問ほかを歴任

【専門分野】臨床獣医学、動物看護学

【研究概要】災害/捜索救助犬への社会貢献を目指し災害などで出るストレス臭のにおい化合物を使い、環境や認知機能など嗅覚の影響因子を解明するため犬や老化モデルとなるスナネズミで行動学的に調査しています。また、家庭動物の災害時の危機管理、感染症の疫学調査、家庭動物の健康寿命を延ばすための診断方法や新規サプリメントの開発などの研究もしています。

出張講義テーマおよび概要

No.106 組織の危機管理・リスクマネジメント

様々な危機に応じた危機管理やリスクマネジメントについて、実際の経験も踏まえながらお話しします。ご依頼の各組織に応じた内容で行います。

No.107 身近なリスクマネジメントを学ぶ

防災、防犯、ネット被害、ハラスメント日常生活、等々、具体的な事例を題材に、日常生活にすぐ役立つリスクマネジメントを説明します。

No.108 資格試験のための効率的な勉強術

効率的に資格試験や就職試験、日々の勉強を行なうためのノウハウや考え方を解説します、併せてキャリアや働き方などにも言及します。



教授 木村 宏 (きむら ひでひろ)

(技術経営修士・国際情報修士)

【略歴】慶應義塾大学経済学部卒業後、大手金融機関を経て東証一部上場企業の人事部長、経営企画部長等を歴任。日本国際情報学会・副会長、総合危機管理学会・常務委員長、日本リスクマネージャー&コンサルタント協会・理事 等

【専門分野】リスクマネジメント、経営戦略、キャリアデザイン、BCP等

【研究概要】社会における危機管理・リスクマネジメントについて、3つの観点(①組織・企業の観点(マーケティング、経営戦略、リーダーシップ、企業不祥事等)、②組織・企業の観点(事業継続、危機管理・防災商品開発等)、③地域活性化・地方創生の観点(まちおこし、産官学金言等)から研究しています。

出張講義テーマおよび概要

No.109 健康と医療に対する危機管理

医学の基礎、生活習慣病について説明しながら、健康管理と災害時医療について危機管理の観点で解説します。

No.110 学校でみられる身近な危険と危機管理

生命を脅かす、身近な中毒や事故、感染症、中毒などについて危機管理の観点で解説します。

No.111 熱中症の科学と危機管理

熱中症は、入浴・サウナ・暑熱環境などで知らず知らず起ります。体温39℃以下でひどくなる前に気づいてください。風が強いと体温上昇に気づかず重症化します。エアコンをつけない室内環境、42℃・30分以上の全身浴では、誰もが重症熱中症になりますが、ほとんどが高齢者です。

No.112 なりたい自分になろう

「できた!できる。できる。」学習法を身につけ、「研究心のある職業人」になりましょう。そのために何を準備すればいいのかを伝え、大学の教育と研究について話します。



教授 黒木 尚長 (くろき ひさなが)
(博士(医学))

【略歴】大阪大学医学部卒、阪大病院などで救急医として勤務後、法医学者・監察医となり、大阪大学大学院准教授(法医学)を経て現職。救急科専門医、大阪府監察医、全国救急救命士教育施設協議会副代表理事、日本賠償科学会理事長、総合危機管理学会編集委員長、大阪大学招へい教授

【専門分野】救急救命学、危機管理学、法医学、賠償科学

【研究概要】入浴中の熱中症、熱中症の危機管理、賠償医学(事故と死亡との因果関係)、ウェアラブルウォッチの臨床応用、くも膜下出血の法医学病理学的研究、乳幼児突然死症候群の診断に関する法医学的研究

出張講義テーマおよび概要

No.113 身近な火災危険とその予防

火災が起こると、人が死んだり、財産を失ったりします。火災の原因は思いがけないところにあり、少し注意深くすれば防げることがほとんどです。今回は、低温着火、自然発火、火災拡大、廃棄物火災など身近で起こる火災について話します。



教授 高 黎静 (こう れいせい)
(博士(工学))

【略歴】独立行政法人・消防研究所特別研究員を経て現職

【専門分野】燃焼学、火災学、安全工学

【研究概要】火は人間の生活を便利にする一方で火災や爆発などの災害をもたらします。このような災害による被害を最小限に抑えるため、燃焼・火災の基礎現象の解明、的確な予測・防止・制御方法を確立することは重要です。本研究室では、熱分析機器、ガス分析機器、熱量計、自然発火試験装置、コーンカロリーメーター、赤外線サーモグラフィ装置等、最新型の機器を多数有しており、これらの装置を用いて、燃焼・火災の基礎現象、例えば燃え広がり現象、廃棄物燃焼の基礎現象、特に最近の廃棄物処理施設の火災・爆発に至る経過の解明と防止対策に関する研究、危険物の危険性評価、難燃材料の開発などの研究を行います。

出張講義テーマおよび概要

No.114 航空会社のライン運航

航空会社の運航全般について、航空機乗務員から見たライン運航を成田空港からハワイまでのフライトの流れに沿って説明をします。

No.115 パイロットライセンスの取得

航空機操縦士になる為の訓練について、本学航空技術危機管理学科のパイロットコースの訓練内容及び期間をもとに説明します。

No.116 航空機乗務員の危機管理

パイロットの危機管理及びその教育内容、CRM・TEM・ヒューマンファクターなどの座学とEBTなどの定期訓練について説明します。

No.117 ECOフライト、航空機運航時中のCO2削減

航空機乗務員のECO意識及びECOフライトの実施方法について説明します。



教授 小橋 行雄
こはし ゆきお

【略歴】日本航空 B744機長
JALways運航取締役乗員部長
中華航空 B744機長

【専門分野】航空機運航一般

【研究概要】操縦士育成方法及び訓練一般

出張講義テーマおよび概要

No.118 さまざまな国際平和協力活動

我が国は、国際社会の平和と安定のために国連PKO活動、国際緊急援助活動などの活動を行っています。これらの活動の概要、意義、効果などについて説明します。

No.119 我が国の領土問題

我が国は、現在、北方領土、竹島、尖閣諸島の3つの領土問題を抱えています。それぞれの問題となった経緯、問題解決のための日本の基本的考え方、外交交渉及び今後の推移について説明します。



教授 佐藤 庫八
さとう くらはち
(法学士)

【略歴】中央大学法学部卒、陸上自衛隊幹部学校教官（1等陸佐）を経て現職。防衛法学会（理事）、日本戦略研究フォーラム（政策提言委員）、日本安全保障、危機管理学会に所属

【専門分野】武力紛争法、安全保障法制、国際平和協力論
【研究概要】国際的な武力紛争に適用される条約、我が国の防衛政策、防衛法制を主として研究するとともに、自衛隊が行う訓練に対する提言を行っています。

出張講義テーマおよび概要

No.120 シートベルトは締めないといけないのですか

自動車の中はシートベルトをしなくても安全と考えている人は多いのではないのでしょうか。交通事故で命を落とす人ほどそう考えているようです。車が衝突するととても大きな衝撃が発生します。衝撃を受けたときにシートベルトを着用しているとどうして良いかをわかりやすく解説します。

No.121 自転車を運転していますか

自転車は簡単に乗れるし、速度も遅いから安心と考えている人が多いのではないのでしょうか。しかし、交通ルールでは自転車も自動車やバイクと同じ車両という分類になります。また歩行者を死に追いやることさえあります。安全に自転車を利用する方法について解説します。

No.122 交通事故はどうして起こるのでしょうか

交通事故は運転者自身の問題に強く影響されています。人間の行動は、認知・判断・操作を繰り返した結果なわけですが、追突事故、出会い頭事故などを例に、人間がどのようなミスをしたために事故になったかを説明します。人間を知ることが事故を防止するために重要ですので、人間について勉強しましょう。



教授 嶋村 宗正
しまむら むねまさ
(博士(工学))

【略歴】日産自動車株式会社勤務（含む、財団法人交通事故総合分析センターにおける勤務）を経て現職

【専門分野】自動車の交通事故調査・分析（乗員の保護及び事故発生防止）

【研究概要】身近に発生する交通事故を対象に、事故発生防止と被害の軽減に関わる研究を行います。交通事故は、人間特性、道路環境、車両特性など様々な要因が関連し合い発生しますので、事故防止のためにはどの要因がどの程度事故発生に関係するかを見定めることが重要です。また、事故にあったときに怪我をしないで済むような装置が求められますが、このためにも要因分析が必要です。これらの分析のためにシミュレーションを用いて解析します。

出張講義テーマおよび概要

No.123 臨床工学技士のお仕事

臨床工学技士の業務である心臓カテーテル検査と治療について解説します。

No.124 心臓動脈硬化の早期発見のしかた

動脈硬化症とはどんな病気か。心臓の動脈硬化の症状とはどんなものなのか。動脈硬化という病気をどのように早期発見するかを解説します。そして最新の動脈硬化検査法を解説します。

No.125 心臓核医学検査

放射性医薬品を用いた心筋細胞の画像と虚血性心疾患の関連性をわかりやすく説明します。



教授 田中 良
(博士(生体情報))

【略歴】名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科博士後期課程修了。臨床工学技士、診療放射線技師として病院に勤務し現職

【専門分野】核医学分野

【研究概要】動脈硬化などによる心筋虚血に陥った心筋機能状態の画像処理や、破骨細胞・骨芽細胞のミトコンドリア機能画像の描出を解明しています。また、医療における危機管理に必要な医療安全、医療倫理に関する新しい知見の研究を行っています。

出張講義テーマおよび概要

No.126 流れの数値シミュレーション

近年のコンピュータの急速な発達に伴い、流れの数値シミュレーションが工業製品の開発・設計や津波などの物理的諸現象の解明に利用されるようになってきました。本講義では、適用例や問題点などをシミュレーション結果を交えながら説明します。



教授 戸田 和之
(博士(工学))

【略歴】東京理科大学工学部助手を経て現職。(社)日本機械学会流体工学部門第83期会員委員会委員

【専門分野】数値流体工学

【研究概要】流体の関連する諸現象を数値的に解明。数値シミュレーションコードの開発。

出張講義テーマおよび概要

No.127 国家同士でも守るべきルールがある！

中国、アメリカ、ロシアなどは、TVのニュースで情報を聞き、映像を見ていると、勝手気ままなことをやっているように思えます。しかし、本当にそうでしょうか。実はそうではありません。その証拠に、ニュースを良く聞いていると、これらの国々の主張の中に、たまた、「国際法」とか「正義」という言葉が出てきます。つまり、自分たちは正しいことをしているということを強く主張するときに、その拠り所として「国際法」という言葉が出てくるのです。では、各国が守るべき(または守っていると主張する)「国際法」(諸国家間のルール)とは一体何なのでしょう。本講義では、中国、アメリカ、ロシアという大国ですら守ろうとする「国際法」について分かり易く解説します。

No.128 さまざまな公務員のさまざまな仕事

最近、警察官、消防官、市役所職員になりたいという人が多く、非常に人気があります。なぜでしょう。「一定の給料・立場が保障され、安定しているから」、ただそれだけでしょうか。違います。最大の魅力は、その仕事内容にあり、一言で言うと「みんなの役に立てる(役に立つことができる)こと」がストレートに実感できる仕事だからです。また、「みんなの役に立てる」というあり方はさまざまで、一口に公務員といってもさまざまな職種があります。例えば、警察官、消防官、市役所職員、県庁職員、経済産業省職員、文部科学省職員、外交官、裁判所職員などなどです。このようなさまざまな公務員のさまざまな仕事について分かり易く解説し、どうすれば「なれるのか!」についても解説します。



教授 戸田 博也
(修士(法学))

【略歴】慶應義塾大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得満期退学後、拓殖大学、清和大学非常勤講師、公務員試験専門「喜治塾」[公務員試験予備校]講師を経て現職

【専門分野】国際法、国際安全保障、国際連合、経済制裁
【研究概要】国際社会には、テロ、武力紛争、自然災害等の危機的状況が常に生じています。これらの問題に対して諸国家はいかに連携し対処すべきか、すなわち、国際社会における危機管理のあり方について、国際法(諸国家間の正義とは何か)の観点から研究しています。これまでは、違法行為国に対する経済制裁の法的枠組を軸に研究してきましたが、現在はテロ抑止のための法的枠組、自然災害への国際的な連携への法的枠組等の研究に取り組んでいます。

出張講義テーマおよび概要

No.129 放射性物質の存在状態と未来への対策

国家の課題である放射性物質の処理についてお話しします。

No.130 澱粉の形態と構造

いつも食べている澱粉の不思議をお話しします。

No.131 地球表層環境での物質の変質

日本だけでなく世界の岩石、鉱物、土壌がどのように変質しているのかをお話しします。

No.132 アフリカでの研究と開発

一般の人があまり行かない西アフリカでの鉱物資源探査と農業生産性の向上についてお話しします。



教授 ^{はった たまお} 八田 珠郎
(理学博士)

【略歴】筑波大学第一学群自然科学類、筑波大学大学院博士課程地球科学研究科、上越教育大学学校教育学部助手、ストラスブール第一大学（ルイ・パスツール大学）・CNRS研究員、国立研究開発法人国際農林水産業研究センター主任研究員を経て現職、一般社団法人日本粘土学会会長

【専門分野】地球科学、表面科学、糖質科学、X線光電子分光分析

【研究概要】地球構成物質である岩石・鉱物は、温度・圧力・水分条件などにより変質します。また、無機・有機高分子材料も加熱・冷却により物理・化学・力学的性質が変化します。これらの現象を解析して理解することは、多くの応用研究の発展につながります。現在、教育と研究を赤外線からX線までの電磁波、あるいは電子線を用いる分析手法などを駆使して行っています。

出張講義テーマおよび概要

No.133 細胞検査士という仕事をご存知ですか？

細胞検査士は、がんの検査の中でも細胞検査（細胞診）を担う臨床検査技師の上位専門職です。ヒトの健康と命を守るため、がんの早期発見と正確な診断に貢献すべく医療の最前線で活躍しています。細胞検査士の使命は、決して「異型細胞やがん細胞」を見逃さないことです。細胞検査士の資格取得方法について、わかりやすく解説します。

No.134 細胞検査士の資格を取得すると、どんないいことがあるか？

細胞検査士は、がんのスペシャリストとして医療現場からの評価は高く、医療従事者の根幹である「人を助けたい」という気持ちが自然に湧いてきます。また、就職や転職に有利であり、世界各国で有効な国際細胞検査士の資格を取得すれば、海外でも活躍できる可能性も広がります。わかりやすく解説します。

No.135 がん細胞の話

ひとくちががん細胞といっても、ヒトそれぞれに顔つきがあるように、がん細胞にもヒトと同じような顔つき（細胞の形）が見られます。正常細胞～がん細胞に至る細胞の変化を、顕微鏡でとらえた写真を交えながら、わかりやすく解説します。

No.136 臨床検査技師資格の話について

医療系の国家資格である臨床検査技師は、患者さんから得られた身体の情報を知るため、さまざまな検査を行う仕事です。患者さんの検査結果から病気を早期に発見し、医師に正しく伝えることで、診断・治療に貢献しています。資格取得および就職等についてわかりやすく解説します。



教授 ^{ふくどめ のぶゆき} 福留 伸幸
(博士（工学）)

【略歴】東京都立府中病院、東京都立八王子小児病院、（公財）東京都多摩がん検診センター細胞検査士養成所、東京都立神経病院を経て現職。（公財）東京都医学研究機構東京都神経科学研究所客員研究員、（公社）日本臨床細胞学会評議員、千葉県臨床細胞学会副会長、NPO法人セルサイト理事、関東臨床細胞学会理事を歴任。（公財）日本適合性認定協会（JAB）試験所審査員（ISO 15189）（公社）日本臨床細胞学会倫理委員会委員

【専門分野】脳血管障害、臨床細胞診断学、病理組織学
【研究概要】微小動脈瘤の形成機序に関する研究、病理組織学における染色法の開発・研究、がんの細胞形態学的研究（三次元再構築法）など。

出張講義テーマおよび概要

No.137 人と動物の体の違い

人とその他の動物は外観だけでなく、体の中の臓器や組織の形態も違います。このような動物に独特の体の形態は、その動物独自の体の働きと密接に関係しています。巧妙につくられた動物たちの体について解説します。



教授 ^{ふくなが ゆうこ} 福永 優子
(博士（医学）)

【略歴】大阪府立大学農学部獣医学科卒、和歌山県立医科大学、理化学研究所、兵庫県立大学を経て現職

【専門分野】神経生物学、機能形態学

【研究概要】伴侶動物の高齢化に伴う行動異常や運動機能の低下は、人と動物が共生していく上で問題となる場合が少なくありません。中枢神経や運動神経の加齢による機能的変化および形態学的変化を解析することで、加齢に伴う認知機能障害や運動機能の低下について、その機序の解明と予防の提案を目指します。

出張講義テーマおよび概要

No.138 将来の自然災害を乗り切るには？

将来発生が懸念される大規模な自然災害（首都直下地震、南海トラフ地震、江東5区大規模水害など）について説明した上で、これらの災害が発生する前に、どのように備えておくべきか（用意周到なリスクマネジメント）、また、万が一災害が発生したときに、どのように対応すべきか（臨機応変なクライシスマネジメント）について、わかりやすく解説します。

No.139 地理情報システム（GIS）を体験してみよう！

新学習指導要領において必修化される「地理総合」の3本柱の1つである「地理情報システム」（GIS）の基礎をわかりやすく解説するとともに、無料GISソフト「QGIS」の基本的な操作を体験してもらいます。 ※QGISの操作体験を希望される場合は、パソコンを利用できる教室環境が望ましいです（要相談）。



教授 藤本 一雄
（博士（工学））

【略歴】東京工業大学大学院総合理工学研究科人間環境システム専攻助手を経て現職。地域安全学会理事、防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業推進委員会推進委員、銚子市海岸づくり会議構成員、匠瑳市防災会議委員など、2007年日本地震工学会論文奨励賞受賞

【専門分野】防災・危機管理学

【研究概要】ハザードマップ（災害予測地図）の作成・利活用方法、防災・危機管理へのGIS（地理情報システム）の応用、市民の防災行動促進のための意思決定支援、組織における防災・危機管理の取り組み方、災害・防災情報の伝達方法など防災・減災に関する研究。

出張講義テーマおよび概要

No.140 実験動物を使ったリスク評価とリスク管理

人に有効で安全な薬を開発したり、食品を介して人が摂取する可能性のある添加物や農薬などの安全性を調べるために、実験動物を使った様々な試験が行われています。これらの試験では多くの実験動物技術者の資格を持った人達が活躍しています。実験動物を使った安全性試験についてわかりやすく解説するとともに、医薬品や農薬などの化学物質のリスク評価とリスク管理について具体的に紹介します。

No.141 食のリスク～氾濫する「安全・安心」について考える～

食品の安全性に対する考え方は、食品流通の国際化、新たに顕在化した食に対する様々なリスク、組み換えDNA技術を利用した食品の登場などが原因となり、近年大きな変革が求められてきました。国際的には、食品にはリスクがあるとの前提で、これを科学的に評価し、管理すべきとする「リスク分析」の考え方が受け入れられています。リスク分析とは、科学的なリスク評価、リスク低減措置のためのリスク管理、情報・意見交換を行うリスクコミュニケーションの三要素が相互補完的に働くことで、総合的にリスクを制御する考え方です。私達が毎日摂取している食品の安全性がどのような仕組みで確保されているのかを具体的な例を挙げながらわかりやすく説明します。



教授 堀本 政夫
（博士（獣医学））

【略歴】北海道大学獣医学部、帯広畜産大学大学院獣医学専攻修士課程修了後、Pfizer Global Research & Development名古屋中央研究所研究員、財団法人北海道科学技術総合振興センター科学技術コーディネータを経て現職。内閣府食品安全委員会専門委員、日本先天異常学会評議員、日本トキシコロジー学会、米国Teratology学会

【専門分野】毒性学、実験奇形学

【研究概要】医薬品がヒトの病気の治療に効果があり、安全であることは、まず動物実験で評価し、次いでヒトで実際に使ってみて医学的統計学的に評価します。私達の研究室では、動物実験からヒトへの影響を予測するトキシコロジー（毒性学）に関する研究をしています。

出張講義テーマおよび概要

No.142 健康に生きる

健康に生きるためには若いうちからのライフスタイルが重要です。生活習慣病を中心に解説します。

No.143 血液の話

体に流れている血液には生命維持のために働く様々な機能があります。その構造と働きについて解説し、血液疾患について説明します。

No.144 体をはかる（臨床検査とは）

臨床検査は生体の成分を測ることで病気の診断を行います。血液検査、尿検査そして生理機能検査を中心に解説します。

No.145 医療従事者とは

病院で働く医療従事者の役割と仕事の内容を解説します。



教授 三村 邦裕
（博士（医学）、修士（学術））

【略歴】東洋公衆衛生学院教務部部長を経て現職。一般社団法人日本臨床検査学教育協議会前理事長・監事、公益社団法人日本臨床検査同学院常務理事、日本健康体力栄養学会理事、日本臨床検査医学会評議員、日本検査血液学会監事など

【専門分野】臨床検査学、血液検査学、健康科学

【研究概要】酸化ストレスと疾患との関係を見だし、酸化ストレスを測定することで疾患の予防法を確立する。また血液凝固反応の機序を解明し、動脈硬化や心疾患などの早期発見や治療法を研究しています。

出張講義テーマおよび概要

No.146 航空機事故はどうしておきるのか

過去に起きた事故をテーマに人間が犯しやすいエラーと事故に至るまでの連鎖を学び、再発を防ぐにはどうすればよいかを考えます。



やまだ みつお
教授 山田 光男
(学士(工学))

【略歴】日本航空 ボーイング747、767機長、日本航空機操縦士協会 編集委員長などを経て現職

【専門分野】航空安全、エラーマネジメント、ヒューマンエラー

【研究概要】ヒューマンエラーおよび航空機事故を減らすための対策であるCRM、TEMIについて研究するとともに、航空機操縦士育成のための指導要領について研究しています。

出張講義テーマおよび概要

No.147 酵素のお話

酵素はタンパク質です。そして触媒機能を有していることから生体触媒と呼ばれています。酵素とは何なのか、その機能と用途を中心に概説します。

No.148 臨床検査よもやま話

健康診断等では診断の一助として血液成分の検査が実施されています。技術の進歩によって臨床検査がどのように変遷、発展してきたかをいくつかの例を挙げてわかりやすく解説します。



うへだ しげる
准教授 植田 成
(博士(農学))

【略歴】京都大学農学部卒、旭化成ファーマ(株)を経て現職

【専門分野】臨床化学、酵素化学、分析化学

【研究概要】臨床化学検査への酵素の応用

出張講義テーマおよび概要

No.149 ヒューマンエラーの科学

どんなに気を付けても、「うっかり」ミスをしてしまうことはあり、完全に予防することは不可能です。時と場合によってはそのようなうっかりミスが重大な事態を引き起こします。心理学の観点から、人間が犯してしまうエラーやミスの特性を紹介し、どう対応すべきかを考えます。

No.150 災害の心理学

自然災害や事故などの災害現場における人間の心理と行動の特徴を知ることが災害時に適切な対応を取り、被害を最小限に抑えるための必要条件です。災害に関する記憶や災害がもたらす心理的影響など、災害と人間心理の関係について紹介します。

No.151 知っておきたい身近な情報セキュリティ

情報の漏えいや改ざん・ネット犯罪・デマや流言の拡散など、インターネットは身近となった一方で様々なリスクを抱えています。この授業では「情報セキュリティ」とはいったい何なのか、情報を守るためにはいったいどんなことが必要なのか、自分が加害者とならないためにはどうすべきなのかなど、身近な情報セキュリティの問題と対処方法について紹介します。



かすかわ まさみつ
准教授 粕川 正光
(修士(心理学))

【略歴】筑波大学心理学系助手を経て現職。日本心理学会・日本認知心理学会・安全教育学会等会員

【専門分野】心理学・認知科学(認知心理学、知覚心理学、視覚情報処理)

【研究概要】認知心理学の観点から、人間の知覚や認知の特性について、実験や調査を通じて研究しています。特に、情報の選択機能である注意というものの特徴や、ヒューマンエラーの研究などを中心に行っています。

出張講義テーマおよび概要

No.152 淡水魚と海水魚と一緒に泳ぐ魔法の水！「好適環境水」の紹介

「好適環境水」は、淡水魚と海水魚と一緒に泳ぐことができる不思議な水で、最近メディアなどでもよく取り上げられています。この水で魚を飼育すると、成長が早くなったり、病気になりにくくなったりあします。なぜこのようなことが起きるのでしょうか？この講義では、次世代型陸上養殖技術として注目されている「好適環境水」について、その開発経緯や目的、メカニズムをわかりやすく紹介します。

No.153 世界をめぐる海洋生物資源の現状とこれから～SDGsの概念を踏まえ～

みなさん、新鮮な魚は好きですか？日本には新鮮な海の幸に恵まれています。近い将来、その資源が枯渇してしまうかもしれません。現在、水産物の需要は世界的規模で急速に高まっています。その背景には、魚が健康に良いと実証されたことや流通システムのグローバル化などが挙げられます。このような背景から、乱獲による資源の枯渇が現実味を帯びつつあり、今や世界の漁業生産量の半分以上は養殖で賄われています。この講義では、このような現状とSDGsの概念を踏まえ、これからの海洋生物資源をどう保全すべきかについて考えます。

No.154 利根川の生き物と歴史の話

利根川は、流域面積全国1位、長さ全国2位を誇る日本の大河川で、さまざまな水生生物が生息しています。一方、利根川には河口堰が建設されており、人口密集地や農・畜産業の盛んな地域を流れてくることから、人為的な影響が大きく、外来種や水質に関するさまざまな問題が生じています。この講義では、利根川における水圏環境と生息する水生生物種の変遷について解説するとともに、在来種であるヤマトシジミの研究を通して、これからの河川生態系保全のあり方について考えます。



こはま たけし
准教授 小濱 剛
(博士(農学))

【略歴】愛媛大学沿岸環境科学研究センターCOE研究員を経て現職

【専門分野】生物海洋学

【研究概要】海洋の中でも特に人為的影響が顕著な沿岸域を対象として、そこに棲息する生物と水質などの環境とを併せて調査し、沿岸域における生態系の現状と変化の過程について考察します。

No.173 母なる海の話

海は地球表面積の約70%を占め、最初に生命が誕生した場所として知られています。みなさんも海をよく目にすると思いますが、海の中の世界がどのようになっているのか、あまり知らないことも多いのではないのでしょうか。この講義では、海の成り立ちや構造、生物の進化についてわかりやすく解説し、海に関する知識を深めます。

出張講義テーマおよび概要

No.155 救急救命士の役割と責任

救急救命士（以下救命士）制度の成り立ちから現在までの救命士の役割と遵守すべき法的責任について将来の展望とあわせてお話しします。



さくらい よしのぶ
准教授 櫻井 嘉信
(商学士)

【略歴】千葉市消防局を経て現職

【専門分野】救急救命学

【研究概要】各種マラソン大会コース上の気象とWBGT（暑さ指数）を測定し、傷病者が発生する要因を研究しています。

出張講義テーマおよび概要

No.156 水資源の話

21世紀は“水の世紀”と言われており、今世紀半ばには世界人口の増加に伴う水不足と、水資源獲得のための争いが世界各地で頻発することが予測されています。人間活動の根源である水を世界全体で手を取り合い保全していくことの重要性について皆さんと考えたいと思います。

No.157 理系女子の素敵な生き方

女性が仕事を持って生きていくことが当たり前の時代となり、専門や技術をもった理系女子が注目されています。本講演では、理工系女子の実情と活躍についてデータに基づいて説明するとともに、理系女子ならではの楽しみや悩みを実際の経験から語ります。

No.158 日本秘湯セレクション

日本には多様な温泉があり、私たちの生活を豊かにしてくれています。成分表の見方を解説すると共に、身近な温泉から知られざる温泉まで成分や効能の違いについて紹介します。



てつか さとこ
准教授 手束 聡子
(博士(工学))

【略歴】徳島大学工学研究科博士後期課程を修了後、(独)産業技術総合研究所特別研究員、東北大学助教を経て、平成25年4月より現職。働く理系女子のロールモデルとして小中高生への講演活動を行う。2015年度より、Girlsキャリアパス講座を開催

【専門分野】水環境学、無機化学、分析化学

【研究概要】河川水・地下水などの水質調査および環境保全を目的とした水質浄化材料の開発。

出張講義テーマおよび概要

No.159 受精卵が赤ちゃんになるまで：そのときにおきるリスクとは？

受精して赤ちゃんが生まれるまでの38週間、胎児はお母さんのおなかの中で日々ドラマテックに成長していきます。この過程で医薬品を正しくない方法で服用すると赤ちゃんの成長に影響を及ぼすことがあります。このようなことが起こらないために実験動物を用いた詳細な検査を経て、医薬品が市販され患者さんの元に届きます。基本的な赤ちゃんの発生の過程とリスクをわかりやすく解説します。

No.160 動物の眼と眼の病気：眼の病気の原因はなんだろう？

近年、犬の寿命が延びるとともに人と同じような眼の病気が多くみられます。老犬の眼の病気にはどのようなものがあり、その原因はなにか、基本的な眼の構造と機能をわかりやすく解説しながら病気について紹介します。



准教授 ^{ばん} ^{よし} ^き
坂 芳樹
獣医学博士

【略歴】日本獣医生命科学大学卒、山口大学大学院連合獣医学研究科博士課程修了
製薬会社の研究所勤務を経て現職

【専門分野】発生学、毒性学、眼科学、実験動物学

【研究概要】実験動物を用いて種々の医薬品の発生毒性の作用機序を胎児培養などの手法で解明しています。

出張講義テーマおよび概要

No.161 人工衛星による地球観測

JAXAにより打ち上げられ、また今後打ち上げられる地球観測衛星について紹介します。



准教授 ^{よし} ^だ ^{しげ} ^{おみ}
吉田 重臣
(博士(理学))

【略歴】宇宙航空研究開発機構(JAXA、旧宇宙開発事業団)招聘研究員を経て現職。日本リモートセンシング学会、日本天文学会

【専門分野】地球大気観測および観測用センサの研究

【研究概要】偏光を利用して大気中エアロゾルを観測するための装置を開発しています。

出張講義テーマおよび概要

No.162 政治を見る目

混迷する政治の現状と課題について、政治制度、政策決定などの観点から分かりやすく説明します。

No.163 環境問題とどう向き合っていくか？

社会的にも大きな課題となっている環境問題、特に地球環境問題に関する議論、廃棄物、リサイクル関連の法制度などに関する議論を紹介し、今後の環境法・環境政策の方向性について説明します。



講師 ^い ^が ^{らし} ^の ^ぶ ^ひ ^こ
五十嵐 信彦
(文学士)

【略歴】早稲田大学卒 新党さきがけ政策調査室、衆議院議員政策担当秘書などを経て現職

【専門分野】環境法・環境政策、危機管理法制など

【研究概要】環境、危機管理などをテーマに国の行政組織、政策決定などについて研究しています。

出張講義テーマおよび概要

No.164 臨床工学技士について

臨床工学技士の業務内容（透析・人工心肺・心臓カテーテル）と、国家資格取得に必要なことを解説します。

No.165 粘菌類の不思議

粘菌類には、まだまだわからないことがたくさんあります。代表的なものは、フィザルムと呼ばれています。単細胞生物である粘菌類にも知性があり、いろいろな事ができます。その不思議な現象に迫ります。



講師 ^{えびね まさと}
海老根 雅人
(博士(情報学))

【略歴】帝京平成大学大学院情報学研究科修了後、現職。臨床工学技士、電気学会、日本環境学会会員

【専門分野】生体計測、神経生理学、菌類学、環境学
【研究概要】神経系を持たない粘菌類の構造は、ニューロンに酷似しています。さらに粘菌類にはメモリーが存在することが知られているので、原始的な神経・脳の仕組みの解明を目的として研究を行っています。また、脳波の研究や、国内外で粘菌類のフィールドワークから、粘菌類が環境から受ける影響の研究も行っています。

出張講義テーマおよび概要

No.166 電気メスの仕組み～電気のでヒトを切る？血を止める！？～

放電を利用した電気メスの仕組みの解説を通して、医学と工学の密接な関係について触れます。



講師 ^{おかばやし とおる}
岡林 徹
(博士(工学))

【略歴】加計学園医用科学教育センター助手を経て現職

【専門分野】生体バイオセンシング
【研究概要】人工腎臓や人工呼吸器などの生体機能代行装置には、さまざまなセンサが取り付けられています。これらの機能向上を目指して、医療機器メーカーや病院と連携して研究を行っています。

出張講義テーマおよび概要

No.167 心機能と心電図の関係

心臓の役割は主にポンプ機能といわれますが、そのポンプ機能といわれる由縁について解説します。また、健康診断などで実施されている心電図検査と心臓機能との関係について解説します。



講師 ^{きうち さちこ}
木内 幸子
(博士(学術))

【略歴】独立行政法人農業生物資源研究所開放的融合研究推進制度研究員を経て現職

【専門分野】臨床検査学
【研究概要】生体内における蛋白質動態に関する研究を行っています。

出張講義テーマおよび概要

No.168 救急救命士の仕事

「救急救命士」と「救急隊員」の違いをご存じですか。医療系国家資格である救急救命士のこと、救急救命士の未来像、救急隊員との違いを知り、救急救命士の仕事について知りましょう。



講師 くさかべ まさゆき
日下部 雅之

【略歴】香取広域市町村圏事務組合消防本部（千葉県）消防司令を経て現職

【専門分野】救急救命学

【研究概要】国内・海外での災害医療支援のあり方、現地の人とのふれあい方、消防隊員のストレスや疲労度等に関する調査・研究を行っています。

出張講義テーマおよび概要

No.169 日本の食を支える畜産業

本学の周辺は、国内有数の畜産地帯であり、畜産物の生産にとって重要な役割を担っている。そこで、日常において摂取している肉、牛乳および卵などの畜産物がどのように生産されているか理解を深め、命の大切さを学ぶとともに、食育へとつなげる。高校生が「畜産」に興味を抱き、将来なりたい職業の一つとして考える機会にしてみたい。



講師 さとう しゅうじ
佐藤 周史
(博士(農学))

【略歴】東京農業大学農学部畜産学科卒、農林水産省へ入省、独立行政法人家畜改良センター一般職を経て現職

【専門分野】産業動物学、家畜育種学

【研究概要】大学周辺の畜産農家の家畜を対象としたゲノム情報による生産性向上の実現に向け、各集団から得られるゲノム情報を把握、活用、さらに各種の研究報告などの情報に基づき遺伝子解析に取り組んでいます。

出張講義テーマおよび概要

No.170 細胞の内側と外側

高校では細胞内の構造やはたらきについては習っていますが、細胞外についてはあまり触れられていません。この細胞外の構造や役割について解説します。



講師 まつむら さとし
松村 聡
(博士(保健学))

【略歴】神戸大学大学院医学系研究科保健学専攻博士後期課程を修了し現職

【専門分野】臨床検査学

【研究概要】生体組織中に存在するタンパク質の役割と働きの解明に寄与するための研究を行っています。またCAI (Computer Aided Instruction) を利用した教材の作製に取り組んでいます。

出張講義テーマおよび概要

No.171 動物看護師の仕事

一般的に知られるようになってきた動物看護師という職業ですが、どんなことをしているかご存知ですか？動物病院で獣医師と一緒に働いている人、というイメージの方が多いかと思います。動物看護師の職業としての歴史を踏まえ、動物看護師が実際にどのようなお仕事をしているのかを紹介いたします。また、動物看護師の資格を持つ方が動物病院以外に、どのような現場で活躍しているかお話しします。



助教 ^{あべ}阿部 ^{ひとみ}仁美
(修士(理工学))

[略歴] 動物看護師として勤務した後、帝京科学大学非常勤講師を経て現職

[専門分野] 動物看護学、動物医療用シミュレータの開発と教育

[研究概要] 動物医療従事者向けのシミュレータの開発および実践教育における効果の研究を行っています。獣医師、動物看護師の方々のご意見も取り入れて、より実践に近い形で修練可能なシミュレータの開発に取り組んでいます。

出張講義テーマおよび概要

No.172 心肺蘇生法（Basic Life Support）について

心肺停止時に行う心肺蘇生法（胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使用）の必要性について解説します。また、いざという時に心肺蘇生が行えるように、訓練用の人形を用いて心肺蘇生の方法を体験してもらいます。



助教 ^{いいだ}飯田 ^{りょうた}涼太
(修士(危機管理学))

[略歴] 千葉科学大学危機管理学部医療危機管理学科卒。千葉科学大学大学院危機管理科学研究科危機管理学専攻修士課程修了後、一般財団法人日本救護救急財団を経て現職

[専門分野] 救急救命学 危機管理学

[研究概要] 熱中症により救急搬送された傷病者データと気象データを用いて、熱中症の発症しやすい環境について調査・研究を行っています。

出張講義テーマおよび概要

No.175 病気を予防し、健康を守る力を育む看護

世の中には様々な健康情報があふれています。自分の身体を知り、自分に合う健康法を行うことが大切です。あなたの健康力を看護でアップしましょう。

No.176 参加者自身が問題を解決していくグループワークのコツ

自分の問題、みんなに共通した問題を解決していくためには、ルールやプロセスがあります。健康問題の解決に向けて保健師が行うグループワーク技術を学んで、あなたの問題をみんなで解決してみませんか。



教授 ^{あんどう} 安藤 ^{ともこ} 智子
(修士(看護学))

【略歴】千葉大学看護学部卒、千葉大学大学院地域高齢者看護システム管理学修了。千葉市役所保健師、銚子市役所保健師を経て現職。千葉県介護支援専門員指導者、銚子市介護保険事業等運営協議会委員。日本地域看護学会会員、日本公衆衛生看護学会会員、日本公衆衛生学会会員、日本ケアマネジメント学会会員、日本高齢者虐待防止学会会員、千葉看護学会会員

【専門分野】公衆衛生看護学

【研究概要】行政保健師による地域ケアシステム構築、ケアマネジメントによる要介護者の自立支援。

出張講義テーマおよび概要

No.177 知識と技術を兼ね備えた専門看護師の仕事の魅力

専門看護師 (CNS: Certified Nurse Specialist) とは、日本看護協会専門看護師認定試験に合格し、より困難で複雑な健康問題を抱えた人、家族、地域などに対してより質の高い看護を提供するための知識や技術を備え卓越した実践能力を持つ看護師のことです。専門看護師は具体的にどのような仕事をしているのか、そして、専門看護師になるにはどのような勉強を続けていけばよいのかについてお話しします。



教授 ^{いちはら} 市原 ^{まほ} 真穂
(博士(看護学))

【略歴】千葉大学看護学部、千葉大学大学院看護学研究科修了。2007年公益社団法人日本看護協会認定小児看護専門看護師(第227号)資格取得。小児医療現場での高度実践看護の経験を経て現職

【専門分野】小児看護学

【研究概要】病気や障害をもち、医療ニーズが高い子どもとその家族が、自宅や地域で安心・安全に暮らしながら、子どもの可能性を最大限に引き出す看護援助の方法の開発や、ケアシステム作り専門看護師の資格を活かして病院や福祉施設と連携した研究を行っています。

出張講義テーマおよび概要

No.178 災害と看護

近年多発する災害。被災体験は生活の営みをおびやかし、心身の健康に影響を与えます。私たちにできることは何でしょうか?災害による暮らしの変化や人々の反応を知るとともに、災害における看護の役割について解説します。

No.179 途上国の暮らしと看護

開発途上国では風土に適應した生活様式があり、生活水準に伴う様々な健康障害があります。わが国の看護職は、和を大切にする看護の専門知識と先進的な医療技術を持ち、世界の人々の健康を守る役割と蓄積された経験があります。開発途上国や中進国の人々の暮らしと健康、日本の看護職の活動を紹介します。



教授 ^{うめだ} 梅田 ^{きみえ} 君枝
(博士(医学))

【略歴】新潟大学大学院医歯学研究科国際感染医学講座 公衆衛生学分野博士課程(後期)修了。新潟大学准教授を経て現職

【専門分野】成人看護学、災害看護学、国際看護学

【研究概要】災害被災者のストレスや睡眠障害、心身のケア、応急仮設住宅の生活環境、被災地のコミュニティ支援など災害看護に関する研究を行っています。

出張講義テーマおよび概要

No.180 ストーマってなあに？

病気の治療などで大腸の粘膜の一部をお腹に縫いつけたものをストーマといいます。そこから便が出るので、装具を装着して生活をします。一見大変そうですが、ケアの方法を覚えて、普通に仕事や家事、旅行をすることができます。どんなことに困っていてどんなケアが必要なのでしょうか。ケアの実際についてわかりやすく説明します。

No.181 キズのなおり方となおし方

日常生活で、手を切ったり、足をすりむいたりということがよくありますね。どんなケアをしていますか？例えばキズは乾かすよりも湿らせたほうがなおるといわれていますが、それは本当でしょうか。キズはどのようなプロセスでなおっていくのでしょうか。ここでは、キズのなおり方となおし方の基本について学んでみましょう。



教授 ^{かじわら} 梶原 ^{むつこ} 睦子
(博士(心理学))

【略歴】愛媛大学 富山大学 山梨大学 山梨県立大学看護学部教授を経て現職

【専門分野】成人看護学 がん看護学

【研究概要】ストーマ(人工肛門)ケアに携わって30年で、現在もストーマの看護専門外来を実践しています。病気で人工肛門をつけて生活している人たちの看護に関する研究もしています。人工肛門のケアだけでなく、心理的な問題や社会的な問題にも目を向けて、人工肛門というハンディキャップをもった人たちが生活しやすい環境を整える活動をしています。

出張講義テーマおよび概要

No.182 ナイチンゲールの看護理論

看護は人類の誕生と共に人々の健康への願いの中で醸成されてきました。看護は一般に誰もができる病人の世話と考えられていましたが、ナイチンゲールによって概念化され、専門職としての道を歩みはじめました。現代でも通用するナイチンゲールの看護理論と一緒に学んでみませんか。

No.183 看護の歴史を覗いてみませんか？

人類と共に誕生した看護が現代までにどのような奇跡をたどってきたのか、看護の歴史を覗いて見ましょう。変化する時代の要請に応じて看護を提供する人々の息遣いを感じてください。

No.184 看護におけるコミュニケーション

コミュニケーション (communication) は「伝える、分かち合う」という意味であるラテン語 (communicare) を語源としています。コミュニケーションは人の気持ちに大きく影響し、そのとり方によって、人の不安を和らげることができますが、反対に不安を大きくすることもあります。病気と診断されたとき、手術を受けなくてはならないとき、看護師がかける一言は大きな意味を持っています。看護におけるコミュニケーションについて一緒に学んでみませんか。



教授 ^{たかはし} 高橋 ^{まさこ} 方子
(博士(看護学))

【略歴】千葉大学看護学部看護学科卒業、東北福祉大学大学院社会福祉学研究科修了、山形大学大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程修了

【専門分野】基盤看護学

【研究概要】現在は終末期医療(人生の最終段階における医療)の意思決定について研究をしています。これまで訪問看護師による終末期医療に対する患者の意思の把握方法や意思把握に必要な情報を明らかにしてきました。看護の対象となる人が最期まで自分らしく生きられるよう看護職として少しでも貢献したいと思います。

出張講義テーマおよび概要

No.185 看護師も実践！KYT

危険予知訓練 (KYT) は、職場や作業の状況のなかにひそむ危険要因とそれが引き起こす現象を、職場や作業の状況を描いたイラストシートを使って考えます。また、現場で実際に作業をさせたり、作業してみせたりしながら、小集団で話し合い、考え合い、分かり合って、危険のポイントや重点実施項目を指差唱和・指差呼称で確認して、行動する前に解決する訓練です。出張講義では危険予知訓練 (KYT) の説明を行った後に、看護師が実践している場面の危険予知訓練 (KYT) を紹介します。



教授 ^{とがし} 富樫 ^{あき} 千秋
(博士(看護学))

【略歴】東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士課程単位取得満期退学、国立国際医療センター看護師、群馬大学医学部保健学科助手、目白大学看護学部講師・准教授を経て現職

【専門分野】看護管理学、基礎看護学

【研究概要】病院勤務看護師の地震に対するリスクマネジメントの実際と方策について研究を行っています。

出張講義テーマおよび概要

No.186 食べ物の旅

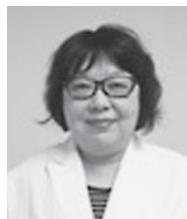
普段普通に行っている“食べる”ことを通して、摂食嚥下のメカニズムを学ぶ

No.187 寝たきりの人の上着を脱がせたり着せたりしよう

体操服のジャージの上着を着て臥床してもらい、どうやったら脱がせたり着せたりできるかを体験

No.188 意外に知らない体温のひみつ

普段通りの体温測定と看護師が行っている体温測定。同時にしてみると測定値に差がでます。体温計を左右の腋窩に入れて検温をすると左右差が出ます。体温って知っているようで知らないことがたくさん。



准教授 ^{よねくら まや}
米倉 摩弥
(修士(学術))

[略歴] 浜松医科大学附属病院で看護師後、聖隷クリストファー大学・宝塚大学・常葉大学等勤務

[専門分野] 基盤看護学

[研究概要] 看護行為が患者に与える影響 / 初学者の看護技術習得プロセスに関する研究。

出張講義テーマおよび概要

No.189 がんとともに生きる人々を支える看護

近年、がん患者の増加に伴い、がん医療も進歩し、「がんサバイバー（がんとともに今を生きる人）」も増えています。生存率が高くなっても、継続する治療とそれに伴う身体的苦痛・経済的負担、再発への恐怖など様々な精神的苦痛を抱えながら生活しているがん患者様を支える看護についてお話しします。



講師 ^{あおき きみえ}
青木 君恵
(修士(保健学))

[略歴] 群馬大学大学院医学系研究科保健学専攻前期博士課程修了。日本医科大学附属病院看護師、高崎健康福祉大学助教を経て現職

[専門分野] 成人看護学、がん看護学

[研究概要] 様々な状況におけるがん患者の認知体験や、地方都市のがん看護の質向上を目指した研究に取り組んでいます。

出張講義テーマおよび概要

No.190 看護と養護

養護教諭の役割と歴史、看護大学での養護教諭の資格取得についてお話しします。

No.191 定時制のための保健室演習

衛生的手洗い、歯磨きと口腔衛生、ケガの手当て、生命徴候の測定について演習を行います。



講師 ^{おおつか あけみ}
大塚 朱美
(修士(教育学))

[略歴] 千葉大学教育学研究科学校教育臨床修了。公立高等学校教諭(看護)・養護教諭を経て現職

[専門分野] 基盤看護、看護と養護、教育臨床

[研究概要] セルフケアを意識した生活援助、健康相談事例研究、後期中等教育(定時制教育)

出張講義テーマおよび概要

No.192 看護師の仕事、男性看護師の役割について

看護師の仕事はどのようなものか。また、その中でも特に男性看護師として働く上でのやりがいや、大変さを感じたことについて、今後どのような役割が期待されているかについてお話しします。



講師 ^{すずき}鈴木 ^{やすひろ}康宏
(修士(看護学))

【略歴】 東京農工大学工学部生命工学科卒、独立行政法人国立病院機構東京医療センター付属東ヶ丘看護助産学校看護学科卒、目白大学大学院看護学研究科修士課程修了

【専門分野】 基盤看護学

【研究概要】 家事育児などの家庭役割と職場における仕事役割との両立葛藤（ワーク・ファミリー・コンフリクト Work-family conflict）に焦点をあて、看護師として仕事を継続し、家庭生活の充実も可能となる環境や仕組みについて考えていく事です。

出張講義テーマおよび概要

No.193 看護師ってどんな仕事？

看護師の資格を取得するまでの過程や、看護師の仕事や魅力について勤務した経験をもとにお話しします。



助手 ^{しibusawa}澁佐 ^{のりき}徳紀
(学士(看護学))

【略歴】 山梨県立大学看護学部看護学科卒業。東海大学医学部付属病院での臨床経験を経て現職

【専門分野】 成人看護学

【研究概要】 災害看護に興味を持っています。臨床では循環器内科病棟での経験があり、災害時の循環器系疾患の予防等に関する研究に取り組んでいきたいと考えています。

出張講義テーマおよび概要

No.194 大地のなりたちをさぐる

地質学、地形学では、地層や地面の形に残されたさまざまな証拠から、過去の大地ができてきた歴史を復元します。北海道から九州までの日本各地、ロシアやモンゴルのような海外での地質、地形の調査の経験を生かして、みなさんの足元の大地がいつどのようにしてできたのか、紹介します。野外にでかけて、実際の地層や地形を観察することも可能です。

No.195 地質災害と防災・減災：地震、活断層、地すべり

2011年3月11日の東日本大震災では、あらためて地震の恐ろしさに気付かされました。地震の起こるメカニズムや、足元の活断層、山が崩れる地すべりなど、日本で起こるさまざまな災害を知り、それに備えることを学びましょう。野外にでかけて地層や地形を観察したり、室内で簡単な実験をすることも可能です。

No.196 芸術と地学のコラボレーション

理科の地学というと難しいイメージがありますが、実は身近なものに関係する楽しい科目です。音楽、美術、演劇、俳句など、みなさんの希望に沿って、さまざまな芸術を通して地学を勉強しましょう。



教授 ^{うえ き} 植木 ^{たけゆき} 岳雪
(博士(理学))

[略歴] 静岡県高等学校教員、東京都立大学大学院博士課程、独立行政法人産業技術総合研究所研究員を経て現職

[専門分野] 地質学、自然地理学、理科教育学

[研究概要] 260万年前から現在に至る第四紀という地質時代の地形、地質の成り立ちを研究しています。それは、現在の自然を評価し、将来の自然を予測するのに役立ちます。高等学校教員の経験を生かし、学校での理科の授業実践にも取り組んでいます。

出張講義テーマおよび概要

No.197 大道仮説実験

NPO法人楽知ん研究所によって開発された、たのしい科学入門プラン「大道仮説実験」各種を実施します。現在のところ、力学、静電気、ドライアイス、気体の化学反応、真空実験などが開発されています。

No.198 衝突による力学入門

衝突の現象は不思議な現象が多く、古来から科学者がひきつけられてきました。たとえば近代科学の父、ガリレオも衝突現象を研究しましたが、結局解明できませんでした。衝突の様々な実験を通じて力学に入門します。

No.199 科学的に考えるとはどういうことか

ちょっとした身近な実験を通して、未知の現象にあったときに、科学的に解明する手法や、科学的に考えるとはどういうことかについて学びます。



教授 ^{つかもと} 塚本 ^{こうし} 浩司
(博士(学術))

[略歴] 神戸大学大学院博士課程修了。千葉県公立高校教諭を経て現職

[専門分野] 科学入門教育

[研究概要] 近代科学黎明期における科学教育の成立、科学教材史、19世紀末における力学教育の形成、仮説実験授業の理論をもとにした科学入門教育プランの開発など。

出張講義テーマおよび概要

No.200 「説得」のメカニズム

説得とは、言語的手段を用いて相手の態度や行動を変化させる試みです。説得の効果には、様々な要因が影響します。例えば、説得者の容姿、話す速さ、文章の組み立て方、被説得者の反発、個人特性、知性などです。このような説得のメカニズムについて解説します。



教授 ^{とづか} 戸塚 ^{ただし} 唯氏
(博士(心理学))

[略歴] 広島大学大学院教育学研究科助手を経て現職

[専門分野] 社会心理学

[研究概要] 脅威アピール説得（危険情報を伝達し、その危険に対する対策を喚起するタイプの説得）の効果と生起機制についての研究を主に行っています。また対人コミュニケーション全般の研究も行っています。

出張講義テーマおよび概要

No.201 学級集団づくりについて

現在求められている児童生徒の人間関係づくりや、教師のリーダーシップのあり方などを説明しながら学級集団づくりの必要性などについて解説します。

No.202 東日本大震災の体験から―災害時における高校生の活動―

津波の被害が大きかった地域での臨床心理士としての活動体験や地元の高校生の活動を紹介し、災害時における中・高校生の役割について解説します



准教授 くまがい けいじろう 熊谷 圭二郎
(博士(教育学))

【略歴】早稲田大学大学院教育研究科教育基礎学専攻博士課程修了。東京都立高等学校教諭を経て現職

【専門分野】教育学，臨床心理学

【研究概要】学級集団や学習集団における人間関係について研究しており，学級集団のアセスメントなどについても興味をもっています。また，臨床心理士としての活動も行っています。

千葉科学大学出張講義実施要項

■出張講義の内容について

1. 出張講義の受講人数に制限はありません。少人数でも承ります。
2. 出張講義の講師は1名だけでなく、複数名派遣することが可能です。
複数名の講師希望があればご相談ください。
3. 出張講義の所要時間は貴校のご希望で調整させていただきますので、貴校の都合の良い形で設定ください。
4. 本冊子に掲載されていないテーマであっても、内容によってはお受けできる場合がありますので、希望される際は、一度ご相談ください。
5. 出張講義の最新の情報は大学ホームページにて掲載しております。
掲載先：<https://www.cis.ac.jp/research/branch/index.html>

■お申込みから講義実施までの流れについて

1. 本冊子の中からご希望されるテーマを第三希望まで選択し、末巻の「千葉科学大学出張講義申込書」にご記入いただき、原則としてご希望日の1ヶ月前までにFAXでお申し込みください。なお、この申込書の様式は大学ホームページからも印刷可能です。
2. 千葉科学大学入試広報部でお申し込みを受付後、日程等調整させていただいたうえで、1週間前後でご連絡いたします。なお、教員の授業・研究スケジュール等により、ご希望に添えない場合がありますので、予めご了承ください。
3. 講義で使用する資料がある場合は、事前にお送りさせていただく場合があります。また、プロジェクターやスクリーンなどの器材のご用意をご依頼させていただく場合があります。
4. 当日、指定された時間と場所に本学の教員が伺います。
5. 講義終了後に、今後の出張講義・大学広報の参考にさせていただくため、受講者の方々に講義内容や大学への興味に関するアンケートの記載をお願いする場合がありますので、その際にご協力をお願いいたします。

■経費について

出張講義にかかる費用（交通費・講師料）等はすべて本学が負担しますので、貴校側のご負担はありません。

千葉科学大学出張講義申込書

令和 年 月 日

学 校 名	高等学校			
連 絡 先	ご担当者名			
	T E L	() -	F A X	() -
希望講義	第一希望	(No.)		
	第二希望	(No.)		
	第三希望	(No.)		
希望日時	第一希望	令和 年 月 日()	(時 分 ~ 時 分)	
	第二希望	令和 年 月 日()	(時 分 ~ 時 分)	
	第三希望	令和 年 月 日()	(時 分 ~ 時 分)	
受 講 者	年 人 (未定の場合は概数を記入ください)			
	学科	科		
講義目的				
講義へのご希望 その他 ご意見				

【2020】

※お申し込みの際は、この用紙にご記入のうえ、下記宛先にFAXにてお送りください。

千葉科学大学 入試広報部

〒288-0025 千葉県銚子市潮見町3番

FAX 0479-30-4546



0120-919-126



〒288-0025 千葉県銚子市潮見町3番

学校法人 加計学園 千葉科学大学 入試広報部

 **0120-919-126** FAX **0479-30-4546**

URL <https://www.cis.ac.jp> e-mail koho@cis.ac.jp